京城日報　六日夕刊

●露軍退却又退却

露國公報に曰く露軍は三日朝ドヴイナ河口の城塞橋梁を爆破したる後リガを撤退して東北に退却中なり敵艦は今リガ灣岸の諸村落を砲撃しつゝありイクスクル方面にて敵は我軍を駆逐し十三露里に亘る戰線の我が陣地を突破してヴアルデンドードを占領せるを以て我軍は北方に退却中なり我軍は既に戰線を整理する手段を執れり（倫敦電報）

●敗因は軍紀の弛廢

露國政府は露軍が獨軍の攻撃を支ふること能はずしてリガを撤退するの止むなきに至りし理由を軍紀弛廢に基因するものなりと自認せり露軍は一彈をも發さずしてリガを撤退せるものなりと（倫敦電報）

●露都の反政府運動

國民軍の力にて直に鎮壓

露都にて反政府黨及び反革命黨は共に市街に於て大示威運動を起さんと企て活躍を開始したるが國民軍出動して漸く之を鎮壓したり又食料不足の結果別に反政府運動起りたるが是れ亦同じく國民軍の力に據りて沈靜に歸したり（桑港電報）

●全露大會決議公報

華盛頓駐在露國大使館発公報に據れば莫斯科に於ける國民大會は（一）戰爭に勝利を得る爲め全力を集中すること（二）強大なる中心勢力を樹立すること（三）露國領土を分割せざる事の三項を全會一致を以て決議したりと（華盛頓電報）

●露國前首相逝去

露國の親獨陰謀者たる前首相スチルメル氏は逝去せり（哥本哈根電報）

●羅馬法王大に失望す

獨逸一層猛烈に報復か

羅馬法王は米國大統領ウイルソン氏が講和提議を拒絶せし爲め甚だしく失望せり外交界は獨逸が米國に對して潜航艇を以て一層猛烈に報復すべきことを信じ居れり（桑港電報）

●米國回答の影響

米國大統領の羅馬法王に對する回答書は深く獨逸の政治社會を刺戟したり多分次期の獨逸帝國議會開期に於てエルツベルゲル氏は議會に責任を負ふべき内閣制を確定せんことを要求し又アルサスローレンの將來は同地人民の票決に附し尚ほ戰後國債の（電文不明）制限を行ふことを提議すべし（倫敦電報）

●吉長鐵道改約可決

四日開催の國務院會議は吉長鐵道改約を可決したり（北京特電）

●戰時保險局新設

六日の閣議に於て農商務省に戰時保險局新設の件可決さる（東京電報）

●銀塊輸出取締

大藏省令を以て銀貨並に銀塊輸出取締令を發布せり（東京電報）

●沒收船舶は大達公司へ

支那政府が差押へたる獨墺の船舶は大達公司に貸與せらるべきが其の船舶の修繕及び乘組員運轉等は一切三菱にて受合ふ事となれり（北京特電）

●長岡佛駐參事官

佛國大使館參事官に任ぜられたる法學博士長岡春一氏は夫人同伴六日朝入港の連絡船新羅丸にて釜山着、午前十時三十分發北行列車にて赴任の途に就きたるが氏は途中京城、平壤、大連、奉天等に立寄り哈爾賓より巴里に直行すべしと（釜山特電）

●山根代議士通過

代議士山根正次氏は五日午後七時着列車にて來釜同夜出帆の連絡船高麗丸にて歸東せり（釜山特電）

●加藤代議士通過

代議士加藤定吉氏は五日午後七時發列車にて

●新釜中校長着釜

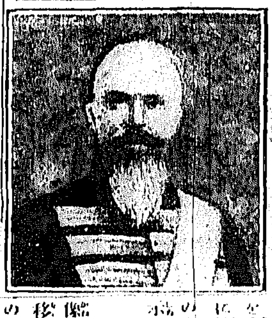
新たに釜山中學校長に任命の官立文學士半田正氏は六日朝着釜、午前十時三十分發列車にて京城に赴きたるが正式に任命を受けたる上歸釜すべしと（釜山特電）

●總督出水視察

長谷川總督は六日午前十一時藤、大島兩副官を隨へ自動車にて龍山附近の出水狀況を視察し過日來の降雨に依る同江の出水狀況に就き具に視察する所ありたり

●政務總監着京

山縣政務總監は五日午後四時東京發京城に向ひたる旨秘書官より其の筋に通知ありたり



露國前首相スチルメル氏

●八月の朝鮮貿易

累計貿易額一億千三百萬圓

―引き續き增進の傾向著し

▲當月貿易額　八月の朝鮮貿易額は輸移出品價六百六十三萬餘圓、輸移入品價九百三十六萬七千餘圓、合計一千五百九十九萬七千餘圓にして引き續き增進の趨向著しく之れを前年同月に比するときは輸移出品價に於て二百八十七萬九千餘圓輸移入品價に於て二百三十一萬二千餘圓の何れも激增を見たり

▲累計貿易額　次に一月以降の累計額は輸移出品價五千百十二萬九千餘圓、輸移入品價六千十萬八千餘圓、合計一億千二百廿三萬八千餘圓にして之を前年同期に比較するに輸移出二千四萬六千餘圓輸移入一千八百四十九萬餘圓の各增進を示せり

▲輸移出狀況　更に重要品に就き前年同月と對比し其の消長を見るに輸移出貿易に在りては（一）米は浦潮仕向に於て露國の政情不安の爲め既約品の外取引を見ず、又支那仕向は露貨暴落、鐵道貨物輻輳等の爲め哈爾賓及び滿鐵沿線方面仕向に於て不振を免れざりしも内地移出は客年の不況なりしに反し比較的好況を呈せしにより差引き五十八萬七千餘圓を增加し（二）大豆は内地の需要引續き旺盛を告げしにより出廻り盛になりしのみならず大連相場暴騰に基き同地方輸出十三萬餘圓を算せしが如き珍現象を呈せしを以て結局增加五十四萬一千餘圓を計上し（三）而已ならず鑛產品の輸移出は相變らず盛況を呈し含金銀粗銅に三十九萬一千餘圓、鐵鑛に十二萬八千餘圓、黑鉛に十萬二千餘圓を各增加したり（四）而して減少せしは洛來の出穀き不振なりし皮革製品の三十一萬餘圓、牛皮の十萬八千餘圓等に過ぎず

▲輸移入狀況　輸移入貿易に於ては（一）外米並に滿洲粟前月來の狀況に連れ輸入不振なりしと米價の低落なりし等の事情に依り兩者とも著しく減退の傾向を示し（二）綿布は月初以來思惑輸入盛なりし結果漸く入荷激減し價格の騰勢を現はせしと共に本綿等に於て價格昂騰の關係上増加を示せるの外綿絲に十三萬四千餘圓、生金巾に十萬一千餘圓を減少せしと同時に生皮及び熟皮に於て二十六萬八千餘圓を減ぜしも（三）砂糖は最近に於ける米國輸出制限の影響を受け引續き騰貴の一途を辿らんとの豫想に基き思惑輸入盛にして十六萬八千餘圓を增加しつゝあるが如くなり（四）諸機械四十四萬六千餘圓、軌條及び附屬品二十七萬六千餘圓、熟鐵十六萬三千餘圓、セメント十七萬一千餘圓、石炭二十萬八千餘圓の增加を見たるも尚ほ其の他主なる輸移入品に於ても概ね增進を告げしを以て前記の如く增進を示せり

●檢查規則決議

既て當局に於て編成中なりし輸移出米豆檢查規則改正案は四日總督府の決裁を經たれば近く府令を以て公布のことゝなる可し本規則は翌年に於ける穀類生產上諸技術の改良進步に伴ひ從來の檢查規定に一步を進めたるものにして夾雜物の混入步合及び調製乾燥の程度、包裝、俵造等に對して更に一層の完全を期し其の規定を嚴密ならしめ以て益々朝鮮產米豆の聲價を擴張すると共に價格の向上に資せんとするに在り

●朝鮮彙報改正

各道地方號發行

大正四年總督府訓令第五號朝鮮彙報に關する規程改正の件は七日の官報を以て公布のことゝなれり、其の要は從來總督府は毎月一日朝鮮に於ける施政及び諸般の狀況を周知せしむる爲め朝鮮彙報を發行し來りしが今回は別に同彙報地方號を發行し主として地方行政に關する事項を蒐錄し記事には證文を附することとある可く又た朝鮮彙報は毎月一日に發行し同地方號は毎月十五日に發行し必要ある場合は臨時增刊することとなれり、而して掲載す可き事項の種目は從來は十六種に分けたるも今回は記事、調査研究、判決例の七種に改正し法令及び通牒、調査研究資料、地方通信雜錄、同地方號は記事、研究資料、地方通信、雜錄等の五種に定め原稿は從來每月十日迄に提出す可きものを今後は每月五日迄に總督府總務局總務課長に送付することとなれり

●地查委員會

六日午前九時より總督府第一會議室に於て高等土地調査委員會を開き土地査定不服申立に關する件に就き再審議の上十一時散會したり

●關地事務開始

全羅南道、慶尚南道、平安南北道、黃海道、江原道、京畿道、咸鏡南北道、忠清南北道等の各郡及び楊口、川邊郡に屬する土地査帳は八月四日より十六日までの間に於て地調査局より夫々之を各郡に發送したるを以て各郡にては九月十日より土地臺帳規則に依りて土地に關する事務を取扱ふことゝなれり其の旨七日の官報を以て發布さる可し

●特定運賃の改正（二）

荷主會議に於ける

三木營業課長說明

（一）内地連絡船の輸送力は昨年度の實績に依り左の如し

定期船	一日	〇〇〇噸
臨時船	同	二〇〇噸

本年十一月より明年三月迄航路に充つ臨時船を以て臨時連絡を爲す豫定にて之等の輸送力は約八〇〇噸なる可く

（二）線別割當數量は前年度の實績に依り線別の割當數量を左の如く豫定せり

月	京義線	京元線	湖南線
九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正七年一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年同期	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（三）地方的貨物輸送豫定數量は内地直通以外北方大陸地方的輸送數量は年度の晴貨に依り十一月より先づ十萬噸を目安とし結果釜山に於ける輸送能力の大部分は最も貨物の集中せらるべき傾向ある釜山を以て此の輸送力に對し充てらるべし

▲本年下半期の輸送計畫

海運貨物の暴騰、船腹不足の爲め鐵道貨物は昨年來甚だしき增加を見、各驛滯貨を生じたるは甚だ遺憾の次第なるが鐵道の輸送力には自ら制限ありて無限の託送に應ずる能はず、内地行貨物に就ては關釜間連絡船の輸送力の爲め特に制限を受け及び山陽線釜山其他の海港著しく輸送力に制限を加ふることあるべく豫め御承知置き願ひ度き次第なり本年秋期以後の我輸送力は昨年同期に比し著しく增加する見込なるを得ざるが故に荷主各位に於てもその以て昨年の如き數量を予想して計畫を立て注文せらるゝことの無きを要す、輸送數量の内に入れ難き取引に從事せらるゝこと無きを望む、而して鐵道輸送力の狀況は時々發表して朝鮮發着貨物の輸送を圓滑ならしむること、或は鐵道の輸送力に一層制限を加ふべしとの說もあるが思料するに通過貨物の發達を勸むるは既定の政策にして現在の大陸交通の幹線として存在する以上滿洲對内地直通輸送の發達を要求するは致て說明を要せざる所なるも多少朝鮮關係貨物の輸送に影響を生ずることあるも已むを得ざるなり、今年十月以降に於ける内地線

●石塚總裁東上

石塚東拓總裁は來る八日午前八時卅分南大門發列車にて針貝參事を伴ひ東上すべし

●國分次官歸京

東萊方面に旅行中なりし國分李王職次官は五日夜南大門驛着列車にて歸任したり

●中村鮮銀局長歸任

東上中なりし中村鮮銀總務局長は歸途大阪に立寄り四日歸京せり

●笠原三井店長代理歸京

三井物產京城支店の笠原店長代理は出張中なりしが五日夜歸京したり

●紙、肥料禁出影響

政府は五日突如として紙並に肥料の輸出禁止を斷行したる旨東京電報は報じ來れり其の朝鮮の受くべき影響如何と云ふに京城より内鮮間に於ける紙、肥料の需給は移出入に付何等の拘束を受けざるは勿論なるが内地より支那を主とし各地に盛んに輸出されつゝあるため京城の紙商中には是れに於ける紙と肥料の商狀は前途好況を續けん、京城に於ける紙と肥料の需要は内地市價の關係上は勢力少なからざるべく從つて紙は鮮内の移入額八月迄に和洋紙を合し約四十五萬圓を超へ肥料は四十三萬圓の數字を示し一般需用者に大方ならぬ苦痛を與へ居りしに付其の下落の氣勢あるは喜ぶべしとなすものあり

●銀行貸出警戒

京城各銀行にては細綿布の暴落より物價調節に出で今後に於ける内地よりの輸移入品市價は目下の所殆んど見當附かざるを以て綿布を主とする輸移入に對する貸出しは目下警戒中なり

●露貨底知らず

百圓對三百卅留

リガ陷落して獨軍は愈聖都を衝か

□西鮮一巡り

別府生

平壤の觸目偶感

▲鎭南浦より二日の夕刻、秋雨に包まれし平壤に着し候、小生にとりては一年半振り也、最近朝鮮事業界の注意を蒐めし觀ある平壤の景況に就ては、別に紙を改めて記述仕り候、唯一年半振りに足を入れた平壤の鄕 目偶感を述ぶれば、新らしい家が可なり出來た事、停車場通りの瓦屋根が失くなつた事、空家が見られぬこと、平壤人が、これからは一層よくなると云ふやうな面をしてゐる事、街路樹が太つた事等に候

▲新らしい家が可なり目につくのも空家のさつぱりないのとは、昨年の春まで八千五百圓であつた平壤の内地人が、最近一萬五百內外に殖へた事に依るらしく聞く所によれば入々の從前より住んでゐる家賃を、今日一割乃至二割なり引上げたと云ふのは、未だ少なき出るも、個々の空家が出來れば、其の家賃は他の同格の家に比し、べラ棒に高い由に候、それでも家はドシドシ入つて來る新平壤人は、あちらこちら大小を問はず、其住む家を探すに於て大方ならぬ苦心を要する由に承り候

▲正直に申せば目についたと云つても、平壤の新築家屋は思つたより少ないやう也、これは建築材料の騰貴並に大工左官の手不足の爲め、堅木家をして貸家新築を見合す者も有之候、或は然らん、唯二三の餘儀なき鮮人の民家を改めたる位は觀

れでは今後平壤の家屋缺乏は一層甚だしく相成り申すべし、少々の新築家屋を新築にしても、金のある人又土地を持つた人に於て出來るだけ新築する事は平壤の今日並に明日に於ける必要なる問題に非ずやと云つてゐる人も有之候

▲停車場通りに於ける鮮人の家屋根が殆んど瓦屋根に改まつた事は、此ふた人を驚かすやう也、然しこれも平壤の好景氣が然し向ひ立たせたる時には非ず、五年前平壤の府部合として發布した五十月以內も瓦屋根に改めた、去る七月卅日に來た故也、當局では防火の爲め市街美より云ふも、平壤全市の藁屋根を即日より瓦屋根に改めたしとの意向なりし如きも、鮮人の民度よ

▲平壤人がこれからよくなると云ふ面をしてゐるのは、尤も至極で云ふ、營業の勃興と、平壤附近の來る可き發展を當局の土地に相違ないと見れば、平壤はこれからよくなるべし、然して當然の期待は、いかにも平壤の市街を美化し、街路樹たるアカシアの濃い葉の繁りも早くこれを美しく見せ候、京城の街路を歩いてゐるかに氣持ちがよかつた、何ぞ考へ候、殊に其のアカシアの茂みに鳴く雨の音は耳觸きかいかにも快く聞かれ申し候（三日夜認む）

●小原長官張宴

小原農商工部長官は六日午後六時より同部各課長を官邸に招待し懇親の宴を張る

人事消息

▲後藤地質所長（陸軍一等軍醫正）門司...　▲松井府次官（元山府尹）...　▲木村長太郎氏（大阪木材商）六日朝入京　▲芥川正氏（京山貿易社長）六日朝入京　▲大橋惠藏氏（内閣總理秘書官）六日朝京

○闘逸は未だ冬知の兵糧をなさず、今秋を以て、眞面目なる直接交涉を申込むべしと、或は一獨逸より講和を勸奨せられつゝあるも、之を一の占領地域の賠償と、撤退とを、狡猾に出し十分の賠償を取らざる限りは、獨逸各國が、斷じて手を引く事なり、敢て上げざるは勿論也、歐洲大戰後の終極は、獨逸が盡き手を捲げ出す迄は、戰爭は何時迄續くか、これは獨逸に世界戰の大平たらしめんとならば、此の戰爭の結果は全く勝敗なしの、引分けとなるべからず、戰爭に熱中せる米國にも、何故此の和論者ありや

○米國の不和論者、ジャーヂン、ロバートの輩が和論を絶叫するは、赤痢の流行を見る。京城の恐るべき状態は、内地に蔓延の兆ありて不快に思ふ、衛生家の行届きは、蓋し京城の面目に關する事にあらずや。大に自衛せよや。

浚渫工事を施す外は無い

京城市街の眞中の漢渓川に流れ込む砂の量は一ヶ年數千萬立方尺

總督府土木課技師 坂出鳴海氏談

京城の市街を西から東に縱斷して流れる漢渓川が淺くなつて日水標橋下流沿岸の人々は水の氾濫にお困りのやうだが洵に氣の毒である。これが當面の解決は淺くなつた河床を浚渫するより他はない。

▲漢渓川は韓國政府時代から度々浚渫でやつて居つたが近頃は

なかなか大仕掛けにやらねばならぬからである、川を埋める土砂の問題、これは實に困つたものである。由來京城の地形は大阪などの如き低濕なる平野と異り山に圍まれた盆地であるから雨の降る度に山の傾斜地から土砂を流すのは止むを得ない。砂は北漢山の風化した石英、長石、雲母のサラ〳〵した砂で、雨に逢ふても粘り氣の無い所謂「きんすな」であるからザツト一雨來れば直ぐ流れ出すのである

▲北漢山、仁王山はこれまでの水にすつかり洗ひ流されて赤肌の如く

山骨露はなる痩せ姿であるから砂は主として新らしい山の崩とか傾斜の小路等から流れ出てそれが中央の水標橋の流れに押し流される譯である、砂の量は一ヶ年數千萬立方尺にも及ぶであらう、故に根本の問題としては植林事業や砂防工事を施すべきである、現に京城周圍の山に成功した植林事業の如きも此の一つであるがまた道路や小徑には横に丸太を並べて置くとが肝要である

▲斯くすれば土砂が流されることが少なくなり次には

來年度の府廳の事業で京城の大下水溝工事が起工されるから此の問題も解決されると思ふ、また京城の山は既に洗ひ流されて居るから雨水の流れなども至つて清澄な水となつてゐる位ゐ、主として砂を流すのは山麓の傾斜地に切りとつた新らしい居及び小路であるからこれ等に注意したならよろしからう、尤も漢渓川の落差は非常なもので假りに西大門内の中學校々門前から東大門外を較べると五十尺の落差がある

▲また東大門から麻浦の落口までは其の上五十尺の落差となる、故に水が

途中で氾濫するのは主として河床にたまつた土砂の爲めと云はねばならぬ、尤も此土砂は前申すサラ〳〵した「きんすな」であるからして埋立地にでも用ひるより他用途があるまい

この頃 —西大門外にて—

天候は漸次恢復に向つてゐる

京城の雨量は約百粍以上に達す

昨今の天候に就て京城測候所員の談に據るに、數日來支那から黄海にかけて多數の低氣壓が發生したるため其の雨量は約百粍以上に達し、此爲め朝鮮中央山脈の西方に多量の雨が降つた譯である。目下の形勢を以てすれば、天候は漸次恢復に向ふものと見て差支へない、六日は南又は西南よりの北風が吹いて仁川、木浦、大連等の如き海岸線は非常に強烈なる風が吹き、京城ですらも九米突の疾風が吹いた位ゐであるから海岸線は隨分強烈な風が吹いた事であらう、而して今後の天氣は新たに低氣壓の發生せざる限り現在の雨雲が散じた跡は追々天候は恢復するであらうと思ふ、殊に六日朝六時の報告に據れば朝鮮の南部には既に雨雲が散じて蒼空を見た所もあるから京城地方も追々晴天に復するであらう。

漢江減水

附近住民愁眉を開く

五日以來刻々增水氾濫の狀態にありし漢江は五日夜に至りて却つて減水するに至り龍山元町四丁目憲兵出張所の調査によれば六日午前三時四十分には二十二尺五寸となり同午前十時三十分には二十一尺に減じ更に同日午後一時には十九尺五寸の水位を示し猶ほ漸次減水の傾きあるより附近の居住者は何れも安堵の胸を撫で下ろし居れり

第一艦隊佐伯灣に集る

（大阪特電）豊後佐伯灣にて目下第一艦隊集合し雄風海を壓するの觀ありと

釋宗演老師

朝鮮巡錫日程

鎌倉圓覺寺管長釋宗演老師の鮮滿巡錫に就ては曾て報道する處ありしが朝鮮に於ける日程は當地妙心寺別院後藤瑞巖師の手許にて取極め老師の都合伺中なるが愈の處は後藤瑞巖師釜山に出迎への上決定するに至るべく時間其他に多少の變更あるやも計られざるも略左の通り決定したりと、老師は奉天北京を經て滿山小林寺に祖師の遺蹟を探ね南京上海を經て十一月下旬頃歸山の由

九日午後九時四十分釜山著▲十日釜山滯在午後講演▲十一日午前十時三十分釜山發、午後一時二十三分大邱著妙心寺布敎所入佛式出頭▲十二日午後一時二十三分大邱發午後九時南大門驛著入京▲十三日御清遊▲十四日午前愛國婦人會にて講演夕刻龍山鐵道倶樂部にて講演▲十五日午後總督府高等官倶樂部にて講演▲十六日朝長沙洞妙心寺別院にて提唱、同午後は有志一[illegible]

衛戍病院傭工卒投身自殺を遂ぐ

五日午前九時頃龍山元町四丁目下の漢江岸に洋衣に袴を著用し居れる内地人の溺死體漂著せり龍山分隊より憲兵出張檢視せしが死者は龍山衛戍病院傭工卒[illegible]にして[illegible]

五十萬圓

生糸織物被害

學生賊を働く

國有林を盜伐

京城荒しの曲者

偽造小切手で七百圓詐取

京畿道高陽郡[illegible]

順化院より（一）

傳染病病院

萬事が清潔

京城の人が傳染病に罹ると誰れでもみな順化院に送られる、順化院は北門の下仁王山の麓に在つて傳染病患者を收容するところである。

餘り感心したはなし

[illegible]

恐怖する

[illegible]

豫防して

[illegible]

電線切斷

[illegible]

商況

債券現物特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

銀塊四十七片强

綿糸布小康

露貨崩落と市況

滿州大豆先約値

新大豆の出廻り俟ち

羅紗類の高下

一割以上の下落

在庫品は六千箱に

機械油益々昂騰

中絶

五十錢方値上

高値を見越し先行益々

禁輸と洋紙

調節令も極冷

成行値の納炭

約一割の海外輸出

京城正米

南大門の廻穀

釜山穀物

生魚市場

仁川期米

六日前場（保合）

大阪天候曇天

市場零聞

依然保合

仁川米豆取引所

六日の十一月限

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人

仲買店 仁川米豆取引所仲買人

確實 迅速 廣澤正次郎

傳染病 [illegible]

募集規定 [illegible]

廻遊觀月會の再擧

九月廿九日(土曜日)舊暦十四日 再擧仲秋明月の夜盛大に開催

不幸にして天候不良連日の降雨襲天の爲め折角の廻遊觀月會の催しも一時延期の止むを得ざる事となりましたが。主催兩社は千五百餘名會員各位の御芳情と三四關係當局の御厚情に對し、舊暦一番再擧を決定し、期日は來る二十九日(土曜日)即ち舊暦十四日(雨天＝換天は順延翌三十日の日曜日舊暦十五仲秋の明月)とし中止延期の場合せに依然當日の會場に充てたる城東清涼里の計畫設備の如きも倍大完全を期して居り升。猶餘興も

餘興

◇郊外活動寫眞 ◇洋樂隊大演奏
◇大滑稽博多俄 ◇妓生舞諸數番
◇今井劍士劍舞 ◇陽氣な五人囃

等嶄新の趣向を添加へて一夜の清樂を十分に提供する豫定になつて居り升。『觀月會員券』に關しては滿鐵管理局、京城電氣會社の承諾を得て今回頒布の會員券を其儘

◆廿九日再擧觀月會券に通用

する事に決定仕ましたから。夫迄各自町家に御保存當日御使用方を希望して置き升。尚大日本ビール四百名の大團體を始め三四の團體は早くも主催社の誠意を諒とし此儘再擧大會參加を快諾せられましたが、一般會員諸士も亦成る可く繼續御參加の儀衷心より希望致升。夫れとも會員中に

◆會員券返却＝會費償還希望

の方からは來る七日より十日迄の間に御面倒乍ら本社營業局に會員券御持參あれば引換へに會費參拾五錢宛を御返濟致し升。但し十日以後の引換申込は御斷り致升

◆附記 大日本麥酒會社京城出張所より各關係者諸君に寄贈配布しある觀月會切符番號第一、六七一號より第二、〇〇二號に至る分は全部再擧觀月會迄繼續保留の事に同出張所との協約成りたれば一切引換拂戻しを致さゞる事に決定せり

主催 京城日報社 每日申報社

●若い男女

▽の結婚が年々減つて來た

文明が進めば進む程いろ/\の弊害が起つて來ますが之には爲政者も一般社會の人々も餘程頭を惱まして居ます

◇結婚期 が遲くなるのも爭はれぬ事實で西洋では結婚の準備即ち結婚費を作る爲めに一時男子も女子も獨身で居るやうな事があり之が結婚の機會を逸すると

◇長い間 獨身で暮す人もあるのです又一方教育や職業の關係からも結婚期を遲らすやうな事實を發見するのです兎も角文明が進み生存競爭が激しくなれば激しくなる程結婚が遲れる

◇傾向が 甚だしくなつて來ます日本でも確に此の傾向が認められるのでさして先づ日本の男子の結婚と年齡の關係を調べて見ますと明治三十二年に二十歳以上二十五歳迄の男子が

◇千人中 三十七人、二八一人三三に減じて居るし之に反して廿五歳以上卅歳迄の男子が同じ十二年間に廿八人、四一から卅三人、一〇八に又卅歳以上卅五歳迄の男子が十二人、八〇から十五人、二六と云ふ風に增加して居る

◇女子の 方は如何かと見ると同じ明治卅二年から四十四年迄の十二年間に十五歳以上卅歳迄の結婚婦人が卅三人、六五から廿七人、七三に減じたのに

◇反して 卅歳以上卅五歳の女が四十一人七〇から四十一人六七に進み更に卅五歳以上の女になると十四人一四から十六人五八に增加して居ます男子も女子も年齡の

◇若い所 では結婚者數が減り稍年を取るに從つて結婚者數が增加して居るのです之から先き此の傾向が益々甚だしくなる事は想像に困難ではありません

◇晩婚の 生産數即ち子を産す事を少くする事は世界の通弊であつて民族の膨脹國民の發展上輕々しく見逃す事は出來ません

●文展と院展と 京阪畫家＝上＝

◆秋は美術シーズンに入らんとし文展を前に控へたる京都の畫家は今一年中の繁閙期に際してゐる大家小家何れも熾烈と彩管を交みに握つて推敲に沒頭してゐる

◆竹内栖鳳山本春擧菊池芳文三氏は未定と稱してゐるが芳文氏は實際描けないらしい栖鳳氏は新機軸を出して描くとの話もある、春擧氏は實際に何か一寸した作品を出すだらうと傳へられてゐる

◆菊池芳文の愛婿菊池契月氏は當期は運河に臨む唐美人と都合によれば更に天平風俗を追加するかも知れぬ(伸びた線の柔かい豐麗な作を見せるだらうと今から期待されてゐる

◆上村松園女史は今年は春頃から強度の神經衰弱にかゝり一眼一眼…りの御用畫も未だ出來上らず延引してゐるので今年の文展には出品せぬそうである美人畫の權威ともいふべき松園の加減換發を願て置く

◆橋本關雪氏は南支旅行に得たる楚州明の山水畫境、林の觀目の盛興を題材に橋本關雪女の男裝爽快の地に入つた故事から戰後歸來の刹那を描くとも傳へられる

◆川村曼舟氏は嚴島を主題に例の沈著な重みのある筆を走すといふ話だが未定である

◆伊藤小坡女は二枚折一雙にて「鏡」題は何んとつけますか分りませぬが妹の看病に歸つて居りました際親戚の娘が能く來ましたのでそれをモデルにして現代美人畫を揮毫するのであります』と本人はいつてゐる、

▲土田麥僊氏は昨把に鴨、二曲一雙支那畫ならひであるが裝飾味もあり優美感の十分なものらしい或は紀州邊で出來た尺八の風景畫一枚を添へ出すかもしれぬ榊原紫峰氏は今年は郷土京都の靈氣込で孟宗藪の一角や春侮の枝が見ねてゐる五月晴れの光景それに山鳩が今とまつたといふ刹那の情趣「セザンヌと支那畫とにヒントを得て紫峰氏の鋭い直感の出てゐるものである」これも二曲一雙それを屛張として會場では一枚として並ぶかも知れない岡崎山氏は秋草に小籔岡崎山氏は桃と牡丹岡始更氏は道頓堀芝居裏を四人の兒弟揃つて畫筆に親しむである(大阪)

光熙門外の秋色 楢崎東策筆

●楢崎東策氏 水彩畫展覽會

豫て京城中學校出身の洋畫家として山本梅渓氏門下に令名ありし楢崎東策氏は這回東都游學の爲め記念畫會を開催するに決し來る八日(土曜)及び九日(日曜日)南山町三丁目京城ホテルにて水彩洋畫の展覽會を催ほすべしと猶當日の出品は約六十點に達し府内有力者の應援の下に一般の來覽を希望する由

●無門會九月例會

無門會九月例會は來る八日午後四時より京城商業會議所樓上にて開催の筈なるが同日は恰かも重陽の前日に相當するを以て瀞海一瀾の提唱に代ゆるに大燈國師重陽上堂の提唱ある筈にて有志の多數參聽を希望する由

●保姆講習修了者

大正六年八月一日より東京女子高等師範學校内に開設したる幼稚園保姆講習會は同十日終了せるが右講習會修了證書を授與せられたるもの、內我が朝鮮に關係あるものは左の三氏なりと

私立京城幼稚園保姆 京口さだ
釜山公立幼稚園保姆 椎原ゆき
庚子記念京城幼稚園長 大和田りよう

●清州地方水害

清州地方は三日朝來亦々降雨あり夜に入りて殊に甚だしく同日の總雨量九十八ミリに達し各河川共增水し四日は忠州、鳥致院、芙江各地間に道路の缺潰流失、橋梁破損等ありて自動車及諸車馬の交通杜絶し同日朝着の鳥致院差立郵便物はために約八時間遲れて正午到着したり清州無心川の出水刻々增加し午後六時前八尺五寸に達し市街の一部浸水を見るに到りたるにより市場町方面の內鮮人及び支那商人は避難準備をなしつゝあり(清州)

渚の砂

■無法者の失敗 三重縣南牟婁郡荒坂村の小松千吉(二六)は同郡飛島村木下つるの(二六)が夜中用便のため戸外に出た所を加へ十數間引き摺り行き甚しかる擧動に及はんとせる際つるから急所を強く締め上げられたので反對に救ひを求め駈付けた男のお陰で生命丈けは別條がなかつたが此の狼藉漢は傷害罪として公判に附せられた

■杓子の投身 和歌山縣日高郡內原村柏木うた(二六)は三十日神戸船大江町の海岸から私生兒ねみ子(二つ)を抱いて海に投身したが折柄通行人が發見し直ちに救助して事情を訊くと只死なねばならぬ身だと答へてゐたが數時間の後突然發狂して仕末が附かなくなつた

■獸のやうな男女 神戸東池尻村仲仕佐藤順平(五五)妻とら(四五)の二人が喧嘩して居る所に佐比江町の酒商竹中新藏(三二)が仲裁に這入つて別室でとらに意見を加へてやると稱し二人は其の場で同衾してゐたので是れを發見した順平は嚇く憤つて翌日新藏が又やつて來た所を小刀で斬りつけて重傷を負はせた

■赤城の返り咲き 日淸戰爭の勝報艦長坂本少佐以下多數の死傷者を出して名譽の海戰を遂行した軍艦赤城は其の後驅廢艦となつてゐたが船腹不足の昨今又々世に出て運送船に返り咲きし名も赤城丸と著つて目下航海中だ

■慘酷な情死 岩手縣稗貫郡湯本村生れ日光足尾銅山鑛夫鈴木庄六(三六)と足尾町秋月樓の酌婦入島あき(二九)の二人は三十一日朝無殘なる鐵道情死を遂げた

■鮫の腹から足 北海道紋別郡渚滑村渡邊大內錦兵衛が去る二十八日長さ五尺計りの若鮫一尾を漁獲し腹七が鮫の腹を切り割ると中から生々しい人間の兩足が出た

■舞妓の失火罪 大阪市北區曾根崎新地出生北義州郡樂校洞名稱つな方の抱舞妓みへ(一六)は客を送り出した跡の提灯の不始末から火事を起した爲め罰金二十圓の處分を受けた

■不思議な學校 奈良縣大和ヶ原山麓の入波小學校は七歲から十八歲迄の男女生徒十八人あり部落以外の知識がなく今に牛馬を見たことがないものばかりだと

■海底から小判 新潟縣田雲崎町渡邊太作は海藻採取中に海底から慶長小判二匁五分(二十八圓)を拾ひ上げた

報酬贈呈

御用化粧料の名稱を募集す

御學理の研究を基礎として創製しつゝある美顔化粧料各種は、何れも學理上、實驗上、品質の優秀なる事を認められ、世の信用を博しました。此の事實は高貴の方々の御聞に達し、名品ごも御用品として御用を勤めつゝある化粧料以外にも、諸種化粧品調製事業の御命を拜して納品致して居ります、其の内には、左記御覽の通り未だ名稱の附けてない品も種々あります。依つて今般此の名稱未定の品々に對し

宮家の御用品たるに相應しく
高尚優美にして解り易き名稱

を附け換いのです。就ては左記應募規定を御覽の上、振つて御投稿下さいますやう願ひます。

◆從來の御用を賜りなしつゝある美顔化粧料各種

美顔白粉 / 白色美顔水 / 美顔洗粉
美顔ユーマー / 淡紅色美顔水 / 美顔石鹸
肌色美顔白粉 / 美顔水 / 固煉美顔白粉
淡紅色美顔白粉 (以上は御用品にして市中に發賣せる品)

純白美顔粉白粉 / 艶出し香油 / 煉歯磨
淡紅美顔粉白粉 / 艶出し煉香油(アーヤンチご) / 爪磨
肌色美顔粉白粉 / 美顔(マッサージクリーム) / 爪磨液
肌色美顔水 / 美顔クリーム(白粉下地用クリーム) / 爪磨クリーム
美顔化粧水一號(アンストランジャン) / 頬紅 / 口紅クリーム
美顔化粧水二號(テーイザャン) / 歯磨粉 / 口紅液 / 眉ズミ

(要領) 右の内の名稱未定の分、例へば香油、歯磨、爪磨液の如きものに對し、何品にも共通の名稱を御考へ願ひ度いのです。

◆報酬

壹等 金壹百圓 壹人
貳等 金五拾圓 貳人
等外秀逸 金壹圓 五拾人

投稿規定

◇名稱は何品にも共通に用ひらるゝものゝ事
◇投稿用紙は端書に限る
◇名稱は端書壹枚に三つ以下に限り明に記し且つ此廣告御覽の新聞名を記さるべき事
◇投稿は東京市日本橋區本町四丁目、美顔化粧料本舖、桃谷順天館宛の事
◇投稿者の住所氏名は明細に明に記さるべき事
◇應募希望の方は實名ご變名ご記さるべし
◇締切大正六年拾月拾日限り
◇同じ名稱を投稿せられたる人幾人もありて其名稱が何等かに當選したる場合には其當選等級の賞金を人數に等分して贈呈の事
◇當選者氏名は十一月中の本紙に發表す
◇此懸賞募集に關する御問合せには一切御答へ申上げざる事

美顔化粧料發賣元 桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目
大阪市西區靭南通二丁目

新荷着
(獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備)
横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 店主 西村潤藏
(獵銃定價表郵呈)
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一番

!!!會員募集!!!
實用英語夜學會 九月十日より第二學期開始す
毎週月火木金曜日午後七時より
日本メソヂスト教會構内(電話二五六九番)
外人教師出席教授す
會場 旭町二丁目

曾我一郎商店
大阪堂島米穀取引所仲買人

物價調節令の發布は…

八角鋼 好評嘖々!! 在庫豊富

ライオン印鋼總發賣元
株式會社 東京鋼機商會九州支店
(小倉市室町壹丁目 電話特長二五六番)
(製材用鋸各種在庫)

豫告
本年四月以來滿洲漫遊中之處來る九月上旬より再び京城に於て診療に從事可仕候也
滿洲奉天出張中
久枝肛門病專門醫院

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醬油
京城明治町一丁目
代理店 山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金口座七五番

豫報

左甚五郎

第十九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚五郎は中川權太夫に對ひ「甚「イヤそれは〳〵何うも恐入りました、お手數をかけて何ともお氣の毒樣でございます、然て何ういふ御用で左樣にお探ね下さいましたか「權「外ではないが今回此方主人が床の置物を拵へになる、鷹を一ッお前に彫つて貰ひたいが如何であるか「甚「へエ承知いたしました、態々のお頼みで、一生懸命に遣りませう、何の位な大きさで何ういふ工合にいたして宜しいのですか其の邊を伺ひます「權「それは止り樹に止つて居る處、鷹は一尺二寸程で宜しい、下繪を持參いたした是を鳥渡見て下さる樣」と懷中より取出たのは鷹が止り樹に毛爪を掛て居りまする處の圖取を能く描いてございます「甚「へエー是は大層能く出來て居ります鷹が止り樹へ著まして首を曲て空を睨んで居る所の樣子は今にも止り樹を離れて飛んで行かと思ふ樣な有樣是は狩野法眼の弟子の澁筆先生がお描きになつたと見えますな「權「其の通り一ッ彫つて貰いたいが「甚「承知いたしました、木は何んで拵へますか「權「左樣それは何んでも宜しいが、何ういふ物が宜しいから う「甚「然うでございますな、姫小松で一ッ拵へませう、止り樹も獨り一緒に拵へて置きまする「權「何うか然ういふことにして貰いたい、殿がお急ぎだが日數は幾日位かゝるつたら出來致すであらう「甚「左樣でございますな「權「それは早い方が宜しい、彼是まア廿日ほどと思召して「甚「廿日と申した處が當日出來いたせば宜いが出來んと又大きに此方が迷惑をいたすから、然らば斯樣いたさう、お上へは三十日と申上げて置くから是非其の內に相違なく出來いたしてくれる樣「甚「へエ宜しうございます、「權「然て價段の處は何の位にて仕上げてくれるか「甚「態々濱松から伏見飛驒の山の中までお探ね下さいましてとんだお手數をかけましたから成丈けまア安くいたしまする考へで百兩何うか頂戴を願ひます、傍に居つたる政右衞門も膽を潰した、スルと權太夫が「權「宜し〳〵百兩金承知いたした「甚「就きましては木を買入れなければなりませんから木の代として半分何うかお手附を頂戴いたしたいもので「權「それは係り役の方へ伺から歸ると申し入れて、當家へ屆ける事にする「甚「何うもお粗忽を申しまして「權「何うか日數を間違はんやうにしてくれ「甚「委細承知仕りました」權太夫は暇乞をいたしまして立歸りました、逆り出した政右衞門が「政「時に今まで若い奴がお州〳〵とお前さんを呼んで居たが何うも俺が睨んだ目に違ひは無い、じやア何かお話しに聞いた伏見の甚五郎と云つて飛彈の內匠の弟子かい道理で大層出來なさると思つたが、然し大變なことを云ふではねいか、姫小松なぞ家の裏の木屋に幾本もころがつて居る、何も錢を出して買ふには及ばねい、百兩とは何うも憖いたな「甚「何に棟梁相手が大名だ、安い高いは決して云ふ氣遣ひは無い、金體なら二百兩とも云ふのだが、稍な諸方を探して歩いて態々探ねて來たといふからそこで俺の方でも極く安くして置いたのだ「流石は細川家でございます、權太夫が歸つて沙汰をいたしますと係り役人から政右衞門方へ五十金屆けて參りました、乃で政右衞門より此の受取りを差出すことになつた、甚五郎は喜んで「甚「何にしろまア有難い、何うか其方へ此の金を預つて置いておくんなさい」と政右衞門に預けました、處へ表から○「ヘエ今日は魚屋でございます」といなせな兄イが鯉口を著て向鉢卷新しい盤臺を其處へ卸した、甚五郎は其の魚屋を呼び入れました

九月八日 九星
舊七月廿二日 癸丑
本命 八白 服 艮 佛滅

▲八白● 有耶無耶になる事有日新事見合ほ方は [illegible] ▲九紫● 財數盛んなる日 [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黑● [illegible] ▲三碧● [illegible] ▲四綠● ぼんやりした [illegible] ▲五黃● [illegible] ▲六白● [illegible] ▲七赤● [illegible]

ね小便病 又は小便近き人

遺尿症俗に云ふね小便は古來より不治の病と稱され居りしが今回發表せる療法は必ずヨクナル事實に不思議なる程にして本療法に依り全快致した方々の感狀が毎日〳〵參り升今回同病患者救濟の爲め卓絕せる最良の藥物と最新の療法を二錢切手封入御申込の方に無代進呈致升 東京市神田區猿樂町二丁目二番地 神明堂

◎產婆生徒募集 規則書要郵券 福岡市外水茶屋町 福岡產婆養成所

京城長谷川町七九(電話七三二番) 內科 外科 小兒科 花柳病科 肛門病 診療 毎日午前中に限る 特に 愛東病院

演藝案內

黃金館 電話二三六六 二三六七 [illegible]

壽館 京城壽町 電話五七八番 浪界の女王吉田小奈良一行 ▲吉田文子 ▲吉田奈良丸 ▲吉田照子 ▲京山若丸 ▲吉田千代子 ▲良榮 ▲吉川小奈良 ▲奈良三味線 ▲吉田美子 ▲吉田花子 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible] 「レッドサークル」全十四篇廿八卷の內 [illegible]

浪花館 電話二六〇 大阪女義太夫界の花形豐竹榮升一行 [illegible]

有樂館 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 [illegible]

わきが 特効藥ファーザー 京城 [illegible] 電話一二九四九 [illegible]

子宮病が治らぬとは

多くの婦人は子宮病の治療を誤つて居る 治療の方法さへ好ければ難治のものでない

一口に子宮病といつたら、甚だ簡單に聞ゆるが其實種類は澤山で一々說明する事は容易でないから子宮病の最も普通の場合に付いて述べよう、

白帯下の容態

は何んなものかと言ふに、詳しく言へば急性と慢性の二種あつて、多少違つた處もあるが先づゾット惡寒がし熱が出て、インフルエンザにでも罹つたかと思ふて居ると內股や腰の邊りに引ツ張る樣な痛みがしたり下腹が膨つて壓しつけられる樣に覺え子宮にも少しの痛みはある、それから大便の通じが惡い癖に小水が頻りと出る樣な始末、さう斯うする中に薄い水の樣な下ものがあり段々濃くなると卵子の白味の樣な濃いものが下り、そして此下ものは甚だ惡い臭がするから誰にもすぐそれと知れる斯うなると月經は多くなつて月經時には痛みを覺え、兩足は冷え一寸買物にでも行くと歸りには呼吸が苦しくて堪らない、といふ風になる、而して白帯下の人は頭痛が附ものであり顏色の蒼いのは本病の特色それから食欲は衰へ身體が虛弱になり貧血を起り精神は陰鬱になる、そして不養生するとか治療の方法を誤ると病勢が行つ戻りつして居る間に惜しむべし他界の人となることがある然るに婦人によつては白帯下は女の役だなど、輕く見る風があつていけない婦人は月經の外絕對に下ものゝある筈のものでない、若しあればそれは病氣の結果である事を忘れてはならぬ次に

白帯下の原因

は何うかと言ふに月經前後の風邪、月經時の不攝生から起る事が多い、それから素人が藥を間違ひたり又素人でなくとも不熟練な醫師に子宮の診察を受けて其醫師が器械の使用が下手であつたりする爲めに此病氣が起ることがあるし、又產後乳を飲ませぬ場合にも起る、併し此に最も注意すべきは淋病菌の這入る事である夫から受けた淋毒の爲に白帯下を起すものは世間に尠くない然し素人は淋毒が白帯下の原因であることを知らないものが多い、そして不知不識淋毒を受けて白帯下を起すのであるから淋毒を有する夫を持つ婦人は此點に付て十分豫防せねばならぬ。猶白帯下は重くなると一命にも關する事は上述の如くであるが、よしんば死ぬの生るのといふ心配はないにしても白帯下は甚だ強い酸性を帯びて居る、精蟲を殺す力を有つて居るから白帯下は不姙の原因となるので恐るべき白帯下の結果が少くない、さて此の

白帯下の治療法

はといふと第一に身體の安靜である特に發熱でもするなら可成仰向いて寢て居るがよい食物はなるべく滋養のあるものを用ゐて血を增し辛い物、醋い物、酒類、脂肪の多いものは避けるがよい、最後に藥物療法に就て一言すれば、現今の所謂子宮病患者が子宮病の難治を喞つのは全く藥物治療應用を誤つて居る爲めである、治療の方法さへ好ければ、決して失望すべきものでない然らば何が一番完全な治療法であるかといふに勿論津村順天堂の自宅療法である津村順天堂の自宅療法は子宮內膜炎等に對しては內服藥と外用藥の兩方を併用するので誠に時勢に合つた新しい療法である內服藥といふのは取りも直さず中將湯のことで中將湯には十數種の加減藥が有つて病氣の種類容態によつて加減調合してある。で子宮內膜炎に對してはその容態に合つた加減中將湯がある津村順天堂ではそれを第三加減と言つて居るそれから外用藥といふのは中將球の事で即ち子宮坐藥であるこれは歐米藥界の新例に倣ひ諸大醫の實驗と斯業多年の經驗とによりて最も完全にそうして最も有効に創製せられた坐藥で此兩藥を併用すれば効能は內外相應じて一層確實となるのである、猶子宮病血の道(ヒステリー)產前產後より起る諸病等婦人病一切の原因兆候及び其治療法は「婦人衞生手引」に於いて極めて丁寧深切に且何人にも分り易い樣文章も平易に記述してあるから婦人病患者には誠に絕好の參考書であるから是非取寄せて一讀するがよい

(本書は東京市日本橋區通四丁目又は大阪市堺筋大寶寺町津村順天堂へ郵券二錢を添へて申込めば早速無代進呈する)

加減藥の購入法

と加減藥ばかりは本舖以外には販賣して居りませぬ故御求めの時は御自分の御容態を詳しく(假名でも何でもよろしいお判りさへすればよいのです)書いて一週間分なれば七十五錢四週間分は二圓五十錢を振替で御送金下されば、スグ本舖は御身體に適したクスリを選つて差上ます。振替送金法の御存じ無い方は郵便局で御聞き下さい、振替番號は東京本舖は東京六〇八番大阪支店は大阪四五六番です、また代金引替でも普通郵便申越ありても宜しくムいます。

▽夏から秋へ

變り目のお化粧=(その二)=

上品な薄化粧に

レート水白粉

お顏にギラつく脂肪を留めて

▲淸楚と上品な薄化粧が出來、

▲素地迄も美しく製調へる

■誰方でも お困りでせう。此季は殊にお顏に脂肪がギラつき、お化粧されても、白さが陰光り致します。さうしたら一体、ギラつく脂肪を留め、美くしいお化粧が出來るのでせう? 昔は「脂肪取り」だの「花いかだ」などを使つたものですが、今は、そんな不完全なものでなく、レート白粉たゞ一つで、脂肪も留まれば美くしいお化粧も出來ます。

■全体白粉 は、只白く附くばかりが能でなく、お肌の素地から美くしくするものでなければ、眞實の文明的白粉ではムいません。處が大抵の白粉は、附けてから色がクスむだり、剝げたり、斑になつたり、陰光りしたり致します。殊に薄化粧となると、それが目立ちますから、この脂肪のギラつく時に、そんな白粉で到底滿足な薄化粧は出來ません。

■是は屹度 貴女樣が御經驗の事だらうと存じます。それでレート白粉が「現代の白粉」として賞讃されて居るのは、少しもそんな憂がないからで、上品な薄化粧に「レート水白粉」さへ使つて居れば、脂肪はお顏に浮かず、素地迄整へて美くしいお化粧が出來るばかりでなく白さに何とも云へぬ奥床しい艶があり、お化粧崩れが決して致しませんから。

■何時とて 御婦人の美容が保つて居られるので、高貴の方は素より、學生間でも推奬されて居ります。尙、レート水白粉をお附けになる節、レートチェリーを下地にお引きになつて置けば一層美くしく、其上へレート粉白粉で粉刷きをされて置けば、少し濃い目の立派なお化粧が出來上ります。

レート化粧料本舖 東京 平尾賛平

第二 汽車 京釜 [illegible] 京義 [illegible] 湖南 [illegible] 京元 [illegible]

京城日報　第三版
九月七日（夕刊と合して八頁）
發行所　京城日報社

物價騰貴と調節（四）
成金時代!!　熱旺盛

[illegible]である。此戰爭は歐洲交戰國の經濟界に大變調を興へしのみならず、世界各國の經濟界にも多大の變動を及ぼして居る。米國と謂はず支那と謂はず、日本と謂はず南米と謂はず、輕重緩急の差こそあれ、一様に各國共戰亂の影響を蒙らぬは無い。物價の騰貴も亦世界的大勢であつて、獨り日本に限り出たしきにあらず。されば各國何れも物價の異常なる騰貴には氣を揉んで居るのである。我邦に於ける物價騰貴は、戰亂に依て貨物の需給關係が亂れたる事、貿易が輸出超過となりて正貨が激増し、從つて兌換券の増發通貨の膨脹せる事等其原因は種々に歸すべきが故に、物價調節を策するに當りても、之が原因を究め、原因を制して結果を矯するが肝要である。而して今日の物價騰貴を激成する[illegible]は投機[illegible]

[illegible]相場の變動多き商品に對しては仲買人が投機心を煽つて已まぬ。茲に一攫萬金を夢みる者所在に起りて黒人筋も素人筋も投機熱に罹さるゝに至つた。日露戰後成金といふ言葉が生じて思惑がうまく當りさへすれば一朝にして百萬長者になる、所謂成金になるといふので、世の中が世智辛くなるに付けても、成金主義が羨まれるやうになり、今回の大戰に際しても、先づ薬品染料等の暴騰より投機熱が高まり、薬成金、染料成金が生じ、次で鐵と紙類の暴騰により鐵成金紙成金が生じ、株が沸騰すれば株成金が現はれ、船成金と鑛山成金に至つては開戰以來浮沈のない最も確かな成金として横綱の地位を占めて居る。其他糸綵成金、穀物成金等苟くも戰亂の影響を蒙むれる品物に對しては大小の成金が目まぐるしいまで簇生して居る。妙なもので米國でも『ナリキン』と云ふ言葉が使はれて居る。之に見ても如何に今日の日本が成金時代であるかが判るのである。

△社會政策の發達　日本内地の景氣は素晴らしい。成金の榮華は例へん際もない。彼等は人間として凡そ金力で求め得べき贅澤の限りを盡し享樂を恣にして榮華を誇つて居る。さうかと思ふと、物價騰貴[illegible]一家糸撫して[illegible]悲むべき時代の落伍者も尠くない。正に今日の社會は富の分配が公平に行はれて居ない。豪奢に誇る者と貧苦に泣く者との生活程度が餘りに距たり過ぎて來た。斯くなると社會主義なる思想が芽を伸ばして來る。神聖なる汗を流して正當なる勞力を提供して居つて益々生活が苦しくなるにつけては、富者を呪ひ社會を咀ふに至る。社會主義は屢々生活上弱者の群中より生ずる。之れ爲政家の選ぶべき所。而して今や日本の政府は自から進んで經濟上に社會主義を行ふが如き政策を執るに至つた。物價の強制的調節、暴利を專とする者に對する國家の制裁、是れ則ち政府が社會主義的政策を通常の場合に施し、而して民衆中より起るところの、日本としては不自然なる[illegible]主義を抑へんとする[illegible]今日の措置は機宜に適せるものとして世の賛する所以である。

[illegible]の流行と云ふ事である。

△射倖心の挑發　歐洲戰爭勃發して我國經濟界に變調を呈し、諸ろの商品が一高一下所謂戰時相場を演じ來るや、射利に拔目なき商人殊に仲買者流は揚つて一般公衆の投機心を煽動した。人間といふ者は多少共に僥倖を希ふもので射倖心を有せぬ者は無い。既に然りとせば即ち此の人性を誘ふに方法を以てせば容易に天下衆人の投機心を挑發する事を得るのである。此の戰爭開始以來東京大阪方面の株式仲買等が、公衆の投機心を煽つた事は非常なもので、彼等は其株式の相場の變動激しき會社の株主名簿を漁つては、全國に渉つて大小の株主に往復ハガキなどを送り、貴下の所有する何會社株は今日何程の相場である、好機逸す可らず、賣却せば大に儲かるとか、或は今何々の株が最も有利だから買つては如何とか、頻りに勸誘して來る。一個の株式に對して五人十人の仲買が各種各様の勸誘をして來る。又會社の重役などでも自社の株主を煽てて持株を手放さしめ、其れを自分が買取つて上前を儲けやうとするの

弘法大師と國民の信仰（六）
（本社主催通俗講演會に於ける講演）
文學博士　黒板勝美

隨つて弘法大師の唱へた眞言宗は、支那に存在せし夫れに非ずして、所謂日本的眞言宗である。今日謂ふ本地垂跡の説は、大師が布教に努められた頃には未だ判然とは現はれて居ないが、その思想は確かに在つたと思ふ。即ち大日如來を垂跡とし伊勢大神宮を本地とする思想、別言すれば國家的宗教思想は既に其の當時胚胎して居た事を想ふ者である。唯其れは明かに歴史上には現はれて居らぬ丈である。

此の思想は前述の八幡大神が大佛を拜むと云ふ思想とは霄壤の差がある。即ち佛教の本身が日本の神か皇室であつて、軈て神佛一致となる思想である。弘法大師は恐らく神祇崇敬の信仰を根本とし、佛教に在る忠孝主義の社會を造る考から、日本的眞言宗を鼓吹されたものであらう。無論眞言宗は其の方面のみを説くものであるまいが、我々の如き宗教に對しての門外漢は、歴史上、又實際眞言宗の今日まで遺來つた所から歸納して左様に考へられるのである。奈良朝の如き甚だ危險なる時代の後をうけた際に於ける弘法大師の此の思想は實に國民の覺醒を促さずには置かないのである。大師の信念は忠孝を根本とする所のものであつて、當時に在りては此の思想に立脚するが最も緊切なりとの信念を抱かれたものであらう。

大師は支那に渡り恵果阿闍梨に就いて佛教を學んで歸られたが、大師は其の弟子中で一番文章が巧みなる所から、阿闍梨の滅後、其の碑文を書く様態々支那から言ふて來たに對し、其の師の而かも支那人の碑文を書くに、忠孝論を以て始めたと云ふ點から考へても、如何に眞言宗に於ては忠孝を重んずるものなるかを知得るではないか。即ち弘法大師は建國以來の神祇崇敬の思想と、儒教思想並に支那に新たに發達したる眞言宗との三つの長所を總合して、茲に日本的眞言宗を創唱されたのであるから、佛教其のものから見れば或は純なるものでないかも知れぬ。印度に於て釋迦の説かれた佛法其のものから考へたならば、或は外道であるかも分らないが、日本の國體に於て奈良朝後半期の如き危險なる時代に於て國民思想を導くものは、確かに弘法大師の創唱された眞言宗の如きものでなければならぬ。淨土宗、眞宗、日蓮宗乃至其の他の宗派は、興る可き相當の理由、相當の勢力、相當の威化力を具有するが、國民の思想は何處に歸著するかと云へば、對皇室、對神社である。日本人の頭から拔かうとしても到底拔き得ない。是れ大古より連續し傳統し來れる思想であるから[illegible]國民的信仰[illegible]に對したらば其の他の宗派も決して[illegible]功績はあるが少くも其の一半の力は眞言宗にある。若し奈良朝の末期に、勢力ある者が出て佛教文を以て日本國民の思想を支配したならば、吾々日本人は或は今日の如く神祇崇敬の念を有しなかつたかも保し難い。日本人の頭には神と佛との區別が無く、何か困まる事があると、神にも佛にも無い世かと嘆つ。寺院に參詣する心持と神社に參拜する心持とは何等相違がない程、日本國民の思想は極めて微妙に調和されて進み來つたのである。固より佛教其のものゝ弊害も澤山ある。延暦寺の如きは之が爲め僧侶の墮落を史上に殘して居るてれば幾多弊害を史上に殘して居るが、日本人は時に過激に流るゝこともあるが、佛教、儒教、神道の各思想が日本に於て實に能く調和を保ち其の思想は軈て皇室に向つて忠となるのである。即ち善良な日本人は皇室の爲めに生存するものであると云ふ信仰を固く握つて居る。世界中日本の如く異れる各思想が渾然として中和を保ち居る處はあるまいと思ふ。

之は第一に聖徳太子に依りて調節されたが、其の以後奈良朝に至る間實に危期に瀕して居た日本思想界は、弘法大師の出現に依りて再び調和の状態に復したのである。是れ即ち日本國民は弘法大師を信仰せねばならぬ様に國民を結びつける所以であると思ふ。而して河内國磯長に在る聖徳太子の御陵を護り居るは、眞言宗の永福寺である。夫れは開基弘法大師が斯くしたものか否かは、記録が無いので分らぬが、現に今日に至るまで、御陵を護り來つたのが、[illegible]の深い意味が有るやうに、私は考へる。[illegible]建國以來の日本國民中に[illegible]であると云ふことに[illegible]大師の[illegible]一致調和するものでなければならぬ。此の點は[illegible]私は日本國民の信仰を弘法大師は敬服に堪へない。

人々に於て[illegible]あらうと思はれる。[illegible]然るに[illegible]高野山の講演は終るのであるが、私は此の所で言ひたい事は、弘法大師の事業は以上述ぶる所の外に、其の一つは讃岐に[illegible]事は[illegible]支那人の模倣で、弘法大師は日本人の創意で[illegible]であるとは雖其の價値を[illegible]以て[illegible]するに過ぎぬ。自己獨創の見解を以て[illegible]發達に貢献せんとは爲なかつた[illegible]に反し弘法大師は道に於て[illegible]を興された[illegible]人の爲す所である。弘法大師は、[illegible]教や道以外にも澤山あるが、[illegible]の點に付て説述する時間が無い[illegible]は他日の機會に譲りたい。或は先刻來申述べた事は、多少偏した點が無いから[illegible]けれども眞言宗に對し、現在に於ける眞言宗の著述を仰ぎ、開基弘法大師の心を以て、大にお考へにならんことを希望する次第である。

誰（59）
布施生譯

しかし秘事は自ずから天知り人知るの譬である、程もなく若い戀人達は自分の安心が間違つてゐるのを悟らせられた、成程料理屋で夕ランの時に、友人と十何人かの一組で卓子を圍んだ時に、球突をして居るのを[illegible]數敗は牌を開くとも無しにしてゐるのがあつた。數敗は開けたが不圖顏色を變へて球突を止めた[illegible]を抛棄てゝ君の所へ飛んで行つた、「おい君、何か言つたな」もう一度言つて見給へ、「待つてました」と言はぬばかりに、對手は態と沈着き拂つて皮肉な笑を顏に[illegible]らせながら、「何度でも言ふさ、大名華族の娘だつて何も不足と違つた事は無いと云ふんさ、何姫なんて名ばかり立派だつて、[illegible]になるもんか。數敗は一[illegible]

[illegible]

◀◀◀◀‥‥見よ――鳥人スミス來る‥‥▶▶▶▶

東亞煙草とスミス飛行大會

空中の覇王鳥人スミス氏の來京を機とし吾社は玆に滿腔の敬意を表すると共に平素愛煙家各位の御好意に酬ゆるため入場券御購入の方に

敷島　武藏野　朝日

を贈呈可致候間左記販賣店にて入場券御買求の程願上候
但數に制限有之候間一日も早く御買求被下度候

■壹等（桟敷）金貳圓　敷島五包呈上
■貳等　金壹圓　武藏野三包呈上
■參等　金五拾錢　朝日二包呈上

◀スミス飛行大會入場券取次所▶

本町一丁目	寶屋
本町二丁目	二葉屋
本町二丁目	森安商店
本町三丁目	前川商店
本町三丁目	藤富商店
旭町一丁目（日出湯入口）	小寺商店
明治町	山口屋
新町	宮下商店
水標橋通	二宮商店
黄金町前	橋商店
南大門通市場前	梁文換
東大門市場前	京城商店
鍾路	諸君三
龍山元町一丁目	藤本商店
同　濱江通	相川商店
同　元町二丁目	永濱商店
同	北川商店
仁川新町	官煙販賣組合

東亞煙草とスミス飛行大會

◎講和再提議 條件

羅馬法王は更に正式の講和提議を交戰國に致すべく傳へらる、其の條件左の如し(桑港電報) (一)白耳義の恢復(二)不當なる行爲に對する賠償(三)獨逸守備兵をアントッツに殘留せしむるを承認すること(四)ローレン州の自治を承認すること但し獨逸はアルサス州を保有すること(五)巴爾幹問題は是れを交戰國の講和談判の決議に待つこと

◎來著米軍準備作業

在佛米國野戰軍司令部附聯合通信員は明年來著すべき米軍を配備せん爲め西部戰線に於ける準備作業に就き語りて曰く佛軍は此の準備に對し數千の獨逸俘虜を作業に當らしめ居れるが其の多くは一萬五千の飛行練習生を收容すべき設備を施さんとする宏大なる米軍飛行場建設に從事しつゝあり此の飛行場は廣さ數哩四方に亙り尚米國飛行練習生は目下佛國飛行學校にて盛に練習しつゝあり其他數個の大救療所倉庫、衛生隊及び本部建物等建設されつゝあり(倫敦電報)

◎英國新造汽船登錄

ロイド協會の記錄に據れば大型の新造汽船六十三隻は過去六週間内に登錄せられたり(倫敦電報)

◎伊軍墺兵捕虜數

伊太利軍は最近攻勢開始以來既に墺國兵二萬七千以上を捕虜とせり(桑港電報)

◎邦人羊毛購入許可

濠洲阿蘭陀來電に據れば日本人は當地にて羊毛を購入することを許されたる旨公表せられたり(倫敦電報)

◎銀塊暴騰と大藏省令

最近銀塊相場暴騰の結果我國の現行銀貨の實質價は遂に其の代價を超過するに至り此の勢を以て進まば銀貨を地金として輸出する者なきを保し難きを慮り當局にては未前に防止する爲め六日左の大藏省令公布されたり(東京特電)

(大藏省令第三十號)銀貨幣又は銀地金を輸出せんとする者は大藏大臣の許可を受くべし、但し外國に旅行する者銀貨幣五十萬圓未滿を携帶する場合は此の限りに非ず

前項の規程に違犯する者は三箇月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す、地金として販賣し又は使用する目的を以て銀貨幣を買收、鎔潰し又は毀傷せるもの亦前項に同じ

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○戰前は陸軍の間に、婦人の社會に於ける位置を、變更せしめたり。男子不足の結果、女子をして其の補充たらしめたるは、人事の經濟上、良とに已む可らざる成行也。されど是れ決して、無償にて行はるる可きにあらず。乃ち其の必然の結果は、婦人參政權の取得となりし也。

○婦人に、男子の盡す可き力役さへも課しつゝ、其上にて猶ほ參政權のみを與へざらんとするは、所詮公平の沙汰にあらず。此の如くして婦人參政權は、議論の區域より脫して、實際問題と成り來れり。而して從來英國に於ても、婦人參政權問題に、反對し、若しくは極めて不鮮明の態度を取りたりし、人士さへも、今は必要の前に、餘儀なく屈服に至れり。

○本年の六月四日、下院に於て、此の問題の[illegible]反對者五五[illegible]名、[illegible]の趨勢の如[illegible]

○要するに[illegible]見れば、其[illegible]づくにて取[illegible]婦人が力[illegible]子より分與せ[illegible]可き也[illegible]らず。されど[illegible]て家族制度[illegible]

◎五十萬圓貸附 華津紡績公司へ

日本興業銀行及び朝鮮銀行並びに臺灣銀行共同にて中日實業會社の仲介により天津にある資本金二百萬兩の支那官民共同事業たる華津紡績公司に對し金額五十萬圓を期限三年十箇月利率年七分五厘擔保は公司全財產を之に充つる條件にて貸附くる事に決し數日前既に調印を了したりと(東京特電)

◎總監首相訪問

山縣政務總監は六日午前八時寺內首相を麻布の自邸に訪問し所管政務に付き報告したる上首相夫人を病床に見舞ひたり(東京特電)

◎大連銀貨缺乏

大連にては昨今小銀貨の缺乏甚だしく某商店の如きは小銀貨の代りに郵便切手を使用し居れり銀貨缺乏の原因は銀相場の騰貴により支那人が小銀貨を貯藏して之を使用せざるに依る爲めにして尤も未だ鑄潰しは行はれざるが如きも早晩其の危險なきを保せず右につき當局者は目下嚴重に警戒を加へ居れり尙右小銀貨缺乏の結果として朝鮮銀行の小額銀行券の流通多きを加へ來れり(大連特電)

◎東洋協會幹事

村野東洋協會幹事は六日朝釜山入港の連絡船新羅丸にて來釜、午前七時三十分發列車にて京城へ赴任したり(釜山特電)

◎時間改正協議

滿鮮兩鐵道直通列車運轉に伴ふ兩鐵道の列車發著時刻改正準備に關して五日安東驛に於て兩鐵道運輸當局者會合の上協議せしが滿鐵よりは貝瀨運輸課長鮮鐵より佐藤鐵道局事務官出席したり

◎鮮銀青島支店

豫而計畫ありし朝鮮銀行の青島支店は其の設備命令を朝鮮總督より鮮銀に下れり開業時期は今後準備に着手する由にて目下の所不明なるも遠からざるべし

◎鐵の兼二浦 三菱の製鐵事業=其經營の將來

別府特派員

■三百噸の製鐵

本年の問題たる三菱の兼二浦製鐵所は歐洲戰亂の影響により外國に注文せし機械の製作に諸種の手違ひを生じ殊に世界的の船腹不足は其の米國よりの機械輸入上に至大の困難ありて建設作業の竣成に年餘の遲延を見しが、些な疑部の機械も遠からず米國より到着の事となりたるため、煉瓦の撤き其他の工事に全力を注ぎ明春の解氷期四月前後に其の□鎔鑛爐火入式を行ふ事に決定し居れり、尙假令萬一機械類の到著に若干の延引を見るも其の開爐は六七月より遲るゝ事なからん、更に其の製鐵能力は如何と云ふに一日百五十噸の銑鐵を製出し得べき鎔鑛爐二基を有するに付き其の操業開始後は一日三百噸の銑鐵を出し得る譯なり而して三菱は右三百噸中の百五十噸を割いて昨年より急設しつゝある製鐵所構內の製鋼所(明年十月竣工)に送りこれを鋼鐵となし、該鋼鐵は三菱の長崎並に神戶の□造船所の用鐵に充て乃ち三菱は鐵の自給自足を圖る目論見なる如し又本製鐵所に對する三菱の投資額は何程なりやと云ふに精細の數字は之れを知り難きも時局に基因する幾多の障碍は其の經費の膨脹を避くるを得ざらしめしもの如く加ふるに製鋼所の新築あり當初六百萬圓にて完成せしむべき計畫なりしも[illegible]千萬圓を幾分超過すべき狀況なる如し

■比較的に見たる兼二浦製鐵所

製鐵の原料が朝鮮に豐富なるは今更ら事新しく言ふ迄もなく、載寧殷栗安岳諸鑛山より年々二十餘萬噸の含鐵鑛石を八幡製鐵所に送り、其の製鐵上の主要原料となしつゝあるに見るも之れを知り得べし、三菱製鐵所は此の四鑛に於ける極めて豐富の鐵鑛石に基礎を置き其の事業を經營せんとするものにて之れを內地の他の諸製鐵所に比し如何なる優劣ありやと云ふに槪觀すれば(一)兼二浦製鐵所の鐵鑛石は載寧殷栗江西の各鑛山より採掘を續行しつゝあり又年額六十萬噸に上り且つ價格低廉なれば各方面より鑛石の買收をなすべしとの事に付製鐵所の原鑛石は近き將來に於て不足を訴ふる如き事は萬なかるべし、又其の鑛石は既に八幡に送られつゝある西田氏等の鐵山と略同一品位なるらしく爲に今日の如く海運界多忙を極め運賃騰貴せる際內地の製鐵所が原鑛石を支那若くは朝鮮より輸移入するに比せんか頗る有利なりと稱するを得べし(二)更らに製鐵上の主要原料の一たる□石炭は如何と云ふに兼二浦製鐵所は頗る不利の地にて之れを近きに得る事其の工場敷地の選定により激て困難ならざれど朝鮮に於ては製鐵コークス用とするに適當なる石炭なし、三菱は平南鐵道の大寶面に其の炭田を見出し之れを水路輸入する計畫なるも大寶炭のみにては到底製鐵用コークスを製し難きに付支那開平炭並に內地炭の巨量を移入し之を混合してコークスとなす事に決定し居れり之れ內地若くは滿洲の如く近き距離に良炭を有する製鐵所に比せんか其の失ふ所は多大ならん(三)同じく製鐵上の主要原料たる石灰石は鐵石の下層にあり、極めて有利なるも(四)甚だ遺憾とする水は如何と云ふに十數哩を隔つる黃州の郊外より兼二浦に之れを引く事となり居れり水量は豐富なりと云へ其の引水工事には缺乏を訴ふる事はなからんも其の設備には巨費を要せし由なれば各製鐵所と利害を較ぶれば差すべきものにはあらざるべきか(五)最後に□肝腎の勞銀は如何と云ふに三菱製鐵所は六百の內地人職工と四五千の鮮人坑夫を使役すべしと云ふ、內地の製鐵所は內地に於て鐵鑛石の採掘をなし居らざるため比較の限りに非ざるも、やゝ力によりては鮮人の勞銀比較的安價に付經濟的となるべき事は、內地人職工は內地に於けるより幾分優遇の必要あり、それだけ不利なりと斷定して差支なき如し要するに兼二浦製鐵所は之れを內地の製鐵所に比し總て[illegible]か優位を占め居るに似たり、唯米鐵若くは佛鐵等は戰後日本に輸入し其の價格對比の數字が如何に出で來るかは頗る斷じ[illegible]

□鐵類自給自足は現時國家の緊急問題なるが少なくも戰爭繼續中並に戰後數年は頗る有利の經營を續け得べし其は現に政府としては日本帝國の的の大問題なり此の大問題に對して朝鮮の三菱製鐵所が幾千の寄與を有するかは論外とし其の進んで巨資を投じ其の製鐵を近く開始せんとするは邦家のため慶賀して可なるべし(兼二浦にて)

◎輕鐵株金拂込 第二回總額七十五萬圓

朝鮮輕便鐵道株式會社は九月一日より同二十五日までの間に於て同社第二回株金一株に就き金十二圓五十錢拂込の事に決定し各株主に通知狀を發したるが今回の拂込總額は七十五萬圓にして朝鮮內に於ける拂込所は京城は百三十銀行支店、大邱は朝鮮銀行支店、釜山は百三十銀行支店なりと(大邱)

◎京城工業會社計畫

前代議士坂口拂三氏其他釜山有力者間に目下京城工業株式會社創立の計畫中なるが同會社は現在京城光熙門外にて硫安肥料の製造に從事せる商山商會の事業を其儘引繼がんとするものにて現商山商會關係者も右計畫に參し居り近く成立の筈なりと

◎立花師團長歸任

去る二日平壤步兵第七十七聯隊の第三期檢閱を終り同師團所屬二浦兼二浦製鐵所等の視察の爲め出張したる立花第十九師團長一行は豫定の行程を了へ六日夜歸任す

◎長岡參事官入京

新任佛國大使館參事官法學博士長岡春一氏は夫人同伴赴任の途次六日夜入京朝鮮ホテルに投じたるが一日滯在八日午前九時十分發の列車にて北行すと

◎段總理刺客に襲はる 刺客團の各總長暗殺計畫

四日夜段祺瑞氏は又復刺客に襲はれたるも幸ひ危險を免れたり北京に潛伏せる暗殺團は當路の各總長を暗殺するを目的となし其の中には張勳氏の部下も加入し居れりと因に段祺瑞氏は最近數度を狙ひ居れりと(北京特電)

◎公使團支那要求略定

日、英、佛、露、白、葡、米各國公使團は八月十七日支那政府よりの希望條件たる關稅改正、團匪事件賠償金支拂延期及び義和團事件議定書の一部改訂に關して商議し其の後日、英、露、佛各國公使は該問題に就き交涉を重ねたる結果大體其の希望を容るゝ事となりたるが細目に付きては尚ほ協議を進めつゝあり(北京特電)

◎三銀行山東省へ貸附

支那山東省に對し行政費支拂に充つるため興業銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行共同にて百五十萬圓を一ケ年期限、年利八分にて同省租稅收入の一部を擔保として貸渡しの契約調印を了したり(東京特電)

◎大阪財界雜信

▲紡系輸移出高 八月下旬の[illegible]六十萬四千八[illegible]俵[illegible]

▲大阪驛の滯貨 大阪驛に於[illegible]四百五十二萬圓[illegible]一千百噸[illegible]

[illegible]相場も一先づ底を入れたるべければ[illegible]今後は確かに一層の活氣を呈す[illegible]

◎古谷代議士來期

代議士古谷久綱氏は來る十三日東京出發滿鮮視察の途に就く由

◎小野參謀歸任

軍司令部參謀小野大尉は步兵第七十七聯隊第三期末檢閱視察並に地理實査の爲め出張中なりしが六日夜龍山驛著歸任せし筈

◎高橋大尉出張

軍司令部附工兵大尉高橋毅一氏は平安北道地理實査の爲め六日朝龍山發列車にて出發したるが歸任は本月二十日の豫定なりと

◎鈴木長官歡迎會

朝鮮商業銀行、漢城銀行、朝鮮殖產銀行、韓一銀行、漢湖農工銀行、白完爀、韓相龍、金漢奎の四氏發起に係る鈴木度支部長官歡迎會は昨日午後六時半より長春館に開催し有賀理財課長、河內山司計課長、水口稅務課長、矢鍋稅關課長、平井專賣課長、不破、野坂二事務官を陪賓とし朝鮮側各銀行會社重役三十餘名出席し盛會を極めたり

◎趙副貲議逝去

中樞院副貲議正七位勳五等趙鎭泰氏は數月前より宿痾にて治療中の處去る四日終に逝去せり

◎電信修技生合格

曩に滿鐵京城管理局に於て募集中なりし電信修技生志願者は朝鮮人八十八名內地人七十五名合計百六十三名なりしが試驗の結果合格者は朝鮮人二十八名局員二十八名局外內地人八名なり右合格者は來る十日入學式を行ひ十一日より二週間技術の實地練習を了へたる後成績に鑑み三十名を採用すべしと

人事消息

▲小山莊氏(釜山中學校長) 六日夜入京京城ホテル ▲橋本好太郎氏(木浦府尹) 同上浦本へ ▲十時英三郎氏(鎭南浦府尹) 同上浦居へ

■百聞百種■

米國で食料法案が議會を通過するとウイルソン君はさらくと目を通して終にさつさと署名した▲側に居た食料品總裁のフーバー君は感に入つた樣子でぢつと見詰めて居ると▲ウイルソン君は『此ペンは記念に君にやらうね』とさつとインキを切る▲フーバー君は大いに面目を施して引き下つた相な▲些々たる其の機微なぬにもウイルソン君の性格が現はれて居るから面白い▲今度の渡米議員の團長頭尾連羅君は其の昔エール大學に學んだ時頗る以て面目を施さず▲卒業論文の時などは四書八書で遂に韓愈の原道論を英譯し論文に代へて差し出した其時米國邊では未だ東洋哲學を研究しなかつたから▲教授先生其論文を見ると何が何やら一向判らぬ▲多分之れは玄妙な理論だらうと云ふので滿點で及第した相な▲今度は日東帝國の代議士として堂々と乘り込むが何うか殘念のない樣にと友達等は心配して居るとか▲米國大學と云へば日本人中には卒業すると天狗の樣な鼻をして歸つて來るか▲由來米國仕込のドクトルとか何とか威張る先生方には斯う云ふ手合が多いテ

第貳回株金拂込公告

當會社第貳回株金拂込ノ件左ノ通リ決定候ニ付御取扱所ヘ御拂込相成度此段株主諸君ニ公告候也

一、拂込金額 壹株ニ付金拾貳圓五拾錢宛
一、拂込期日 大正六年九月弐拾五日
一、取扱所
東京 安田銀行 帝國商業銀行
大阪 三十四銀行 中央商業銀行
福岡 百三十銀行博多支店
京城 百三十銀行京城支店
釜山 百三十銀行釜山支店
大邱 朝鮮銀行大邱支店

大正六年九月五日
朝鮮大邱府京町一丁目一番地
朝鮮輕便鐵道株式會社

漢學講義錄

目下入會の最好機 一ケ年卒業 講義錄見本付會則無代進呈
(學課)漢學研究指針、論語、外史、政記、文章軌範、唐宋八家文、十八史略、作詩作文、[illegible]
東京神田區表神保町 帝國漢學普及會

◆「二人少尉」全四卷
八月一日より二十日間に亘り大阪毎日新聞社界欄連載事實譚「中將の娘」改題
△彼の可憐なる信夫子の波瀾重疊たる長物語りを我日活會社東京派俳優の大努力に依り長尺のフイルムに脚色し其の實說より以上に趣味を加へたる面白き事實劇
!!內地三都に卒先して特別封切大寫眞提供

◆第二「レッドサークル」第三、四編提供
△前週の好評の下に迎へられたる連續奇異探偵劇

◆舊劇「振袖三平」全四卷
△斯界の名優尾上松之助一派の大奮闘劇
野村雅廷、藤島保得意の說明
△本興行中入場料一等四十錢二等三十錢三等十五錢
△初日より大阪毎日新聞讀者に限り割引の特典あり
△從來發行の入場券及招待券御斷申候
七日より開演 大正館

木炭買込の時機到來
み 商店新炭部
京城旭町二丁目(電話二三二番)
十俵以上御買込御希望の御方には御直段を以て御屆け可申候

宮崎式 滿洲瓦發賣廣告
製品の特色
宮崎式滿洲瓦は近世式屋根瓦にして幾多苦心考案を加へ今や完全の品を製出するに至れり其質の堅牢にして耐久能く寒暑に堪へ重量の輕くして聊かの漏水なく且つ色彩の加工自由なれば和洋建物に適し殊に洋風の建物に至つては配合よく外觀頗る美にして如何なる極寒中と雖も施工する處に得し理想的屋根材料として歡迎せらる
宮崎式滿洲瓦 色 赤色 灰色 錆色 彩 一坪に付 金四十八枚
價格は從來の日本瓦に比較し頗る低廉なり
使用せし重なる建築物
安東縣 稅關
平壤 中村組事務所
兼二浦 三菱製鐵所
平壤 小野田セメント會社支所
鎭南浦 久原製錬所
大連市山城町 宮崎製瓦所 電話四四八番振替八五二番
龍山漢江通十三番地 同分工場
滿洲、青島、上海等到る處使用せらる
西鮮特約店 平壤 中村組

◇新任佛國大使館參事官　長岡春一氏並に同夫人（三日夜南大門驛にて）

●不自由な巴里へ！

學友の多くは戰死しただらう

成歡驛にて夫人の父君大島將軍勇戰の跡を偲びつゝ　新任佛國大使館參事官　長岡法學博士談

外務省の人事課長から佛蘭西の大使館參事官に榮轉した長岡春一博士は夫人同伴赴任の途次六日夜九時入京朝鮮ホテルに入つた、京釜線の大田驛からは本浦の榛本府事が同車して一むかし前の

◆巴里の物語り　がなつかしさうであつた、永登浦からはまた舊知の入澤事務官が出迎へて七日の一日を昌德宮と鮮人女學校に案内する日程が出來あがつた、巴里へは充分の不自由を覺悟の前で出掛けます途は露西亞から瑞典にとりそれから佛蘭西へ渡りますが隨分困難だらうと思ひます、佛蘭西の學友の多くは戰爭で死んでると思ひます、何しろ一生懸命の戰爭ですからね、西部戰線もモウ

◆獨逸が受身に　なりました、其の證據には近來獨軍が攻勢に轉ずるとが稀れになりました、サア、私の在任中に講和にでもなると面白いことですが……四年も居たら是非一度は歸朝します、なに、私の日歐關係史のことですか……アレは和蘭に往く前に出版したもので其の後に出せばまだ研究したこともありましたが……朝鮮は全くはじめてです、前の秋山軍司令官閣下とは海牙の平和會議に一緒でした……」また令閨の二三子夫人は洋裝の美しさで

◆二度目の渡歐　を夫君と共にする甲斐々しさ、成歡驛で父君大島義昌大將勇戰の跡を見たとよろこんで居られたが八日には平壤に一泊の上、船橋里の戰跡を見るといふ大島將軍の當年の負傷は今猶ほ腹部に殘つて居つて折々之を手にして「こんどは戰ばなしが出るといふ「こんども是非見るがよからうと云はれましたから……」と微笑まれた、博士夫妻は八日朝北行、途中大連に寄つて

◆十四日哈爾賓　を出發、河野騎兵大佐、安達白耳義公使その他佛蘭西大使館に赴任する三等書記官夫妻と同行の筈、博士は佛蘭西の文學博士で『外交通義』『成文國際公法』『世界外交史』等の著書あり

◆新羅の舊都に遊ぶ（十三）

影池の由來と泛影樓……慶州金剛と栢栗寺……掘佛寺の石佛

五道踏破旅行記者　李光洙

○慶陵より慶州へ歸る間、佛國寺の南方に當る所に影池なる小池あり、沙白く水清し、其の昔金大城、佛國寺の建築に從事せる頃、阿斯なる一少女彼を慕ひて、たつた一目にても好し逢はんことを望む、大城斷る、少女の懇願すること切なり、大城も亦人間のことなれば、胸中無限の煩悶の燃ゆるを覺えしならんも、然るを抑へて又斷る、少女の願愈々切なり、於是乎大城無影塔の功成るの日を以て逢ふことをなす、大工事なれば中々に成らず、少女待ちつゝ待つこと一年又一年、十年、二十年、思慕の餘り遂に病をなし、一夢に見はれて少女に告ぐらく、憐なる少女よ……汝が戀人に逢はんとせば此處に池を掘れ、然らば彼の塔其に映りて或は汝が思へる人に逢はれんと、少女池を掘り始めたるが、かの少女の腕も一念の凝る所、十年の星霜を送迎して遂に池成りぬ、朝より夕に至るまで池を覗く、忽ち佛國寺の影は然と映りて、釋迦塔上最後の一手を下して成功の微笑に顏打綻ぐる大城が姿は彼の女の前に見はれたり、されども大城已に古の大城にあらず、少女も亦大城を慕ひて白髮の嫗なる、彼の女一曲の哀歌を歌ひてひらりと身を池に投げたる池中に沈む、千五年後の今日に於てさへ、含滿より微風の來ることに彼の女を偲ぶ、之れ影池の傳説にて候、佛國寺の泛影樓は、此の池に影を泛ぶる意にて候、氣象上の關係にや、影池に佛國寺の映るは今も昔も稀らなき由なれども、我見たりと云ふものなきは不思議なることにて候。

○彼は何王陵、此は某寺の遺跡等と、昨日見たる所を指點しつゝ、逆風と疲勞と闘ひて辛うじて旅館に歸る。の休憩すること三時間、自轉車に健康診斷を施して、一行は再び古蹟探訪の途に就き候、餘す所は明活城、南山城、昔脫解王陵、栢栗寺、金庾信の墓、及び慶州博物館なり。先づ道を北方、新羅街道に取りて金剛山の栢栗寺に至る、慶州にては山美しければ金剛山と名づくる癖あり、何富士、何富士と申すが如きものにて候、栢栗寺は今や見すぼらしき一小刹なれども、其の當時は新羅の都を一眸に收むる勝地にして、佛國寺の盧舍那佛と並び稱せらるゝ藥師如來は、其のいやに美しくいやに慈悲深き御顏を以つて、四面石佛の殿

◇掘佛寺の石佛

百年來土中に埋れし悲慘なる身の上を以て、今は天下に名を鳴らし居り候、栢栗寺も元は有數の巨刹にして金剛山の麓に在り、掘佛寺も中々の名刹なりし由に候へ共、今は礎石さへ半ば土に埋れ終り候ひぬ。

○明活城も南山城も、共に歴史上重要なる古蹟には相違なかるべきも、日已に暮れて身體の疲勞又其の極に達す、栢栗寺より十數町東にある昔脫解王の陵さへも參拜する勇氣はなく、況してや西川を隔てゝ玉女峰下なる金庾信の墓（一説には金仁問の墓なりと云ふ）は、文武王陵と規模略相同じと聞きたるのみにて満足せざるを得ず候。

○慶州見物は之にて一先づ打ち切り詳しくは後期に讓るべく候、小生は未だ歴史的及び美術的眼識なければ慶州見物の資格なきものにして、數年後には或は資格の備はらんこともあるべしと、窃かに自信の微笑を禁じ得ず候。

○終りに臨みて小生に種々の便宜を與へられし慶州の官民諸氏に深甚の感謝を表し來候（八月十八日慶州にて）

●京城電話增架

京城郵便局にては本年度內市中に五十個の電話を增架する豫定なりしが其後の加入申込者意外に多きと又地方增架計畫中一部變更ありたる爲に因り結局京城市は本年中百個を增設する事となり目下殘餘の五十個取付の爲め材料引取中なれば遲くとも年內には全部の完成を告ぐる見込みなりと而して郵便局は右百個の增設を行ふ外現在申込者中次期增設に廻るもの約四十件を算するのみならず今後益々加入者增加の模樣なりと

●警官と稱して五百五十圓を捲上ぐ

贋造紙幣積込の嫌疑ありとして

大阪市林武次郎氏所有汽船第十大運丸（八百噸）は去る三日午前六時橫濱より門司に入港碇泊中同日午前十一時同船へ正服巡查來り船長に對し同船は橫濱より贋造紙幣を積込みし嫌疑ありと稱し現金を出させ紙幣五百五十圓を紙包みに納め午後五時本署へ持參すべしと命じ夫れより船長以下船員に對して種々訊問をなせしが其の間に何時摺替へたるものか右の紙幣を贋造紙幣と取替へて持去りたるが後にて此の事實を發見し訴出でたるを以て目下犯人捜索中なり（門司）

●遊女を道伴れに

生害　遊廓の情死騷ぎ

牛耳洞南山町居住大分縣北海部郡佐賀市村生れの大工太田瀞（三〇）は九月一日夜旭町遊廓三好樓抱娼妓おそめ事慶尚南道康原縣多可郡生れの大前うめ（二〇）の許に登樓し四日朝迄流連し一旦引き返して同日夕刻再度登樓し同夜に到り情死を迫りたるに同女が肯ぜざるより終に刃にて左腹部を一突したるより同女は大聲に叫びたるに驚き男は僅かに女の頸を絞めつけんとしたるに驚きたるうめは懸命に抵抗して逃げ出したるより男は之れを追ひ廻る所を又も樓主に取押へられたるが附近巡邏中の巡查に引渡されたり、男は押へられたるが之を懷中にせし刃にて咽を突きたる長さ二寸の創傷を負ひ親方の井川に收容せしめたるも身體は其儘に臥して目下取調べ中なり

●人豹を射留む

全羅北道任實郡聖壽面附近にては近來頻りに野猪の被害多く麓の農作物は散々に荒され又た一物も留めざる有樣なるより農民の憂慮一方ならず是等の情報に接したる任實警察署にては直ちに特別狩獵者を派し大に配中大豹露山中に現はれたりとの里民の知らせに勢を得て去る二日同山林監視員一名と誠ら村民十數名の應援の下に鉦太鼓を叩き同山を片端より狩立てたる際大豹牙を鳴らして逃走せしを特別狩獵者が認めて首尾よく射止め一同意氣揚々任實署に擔ぎ込みたるが山なる大豹は頭から尾まで七尺に餘る稀有の大豹なりと（全州）

●大田地方の豪雨

八月廿一、二日の大洪水のため崩壞せる大田附近の河川は其後八百餘圓の補助費を得て應急護岸工事に著手し大略工を竣へたるに去る三日夜より降雨あり爲めに人心恟々たりしが翌三日に至るも猶歇まず四日夜に至るも驟雨は止まず大田、大東兩川は增水五尺に達し本町一丁目及び春日町は危險に瀕し木尺里方面及び大興町附近は今にも浸水せんとせる樣なりしより消防組を出し床を上ぐるなどその混雜非常なるものありしが同夜十一時頃よりして雨も晴れ間となりたれば始めて一同愁眉を開きたるが今回の豪雨の爲め作物の被害勘少ならざるもの當局にては雨止むと共に被害の狀況を調査せんため四日農業技手を派して調査に著手せり云々（大田）

●困つた巡查補

二日午前二時頃光州警察署勤務巡查補韓麟履（二一）は慶附近に五六合を引掛け泥醉して市內を徘徊中光州橋附近にて光州面鄕社里居住趙姓女なるものを捉へ盜の嫌疑ありと稱し拘引せんとせしかば趙姓女は大いに驚き頻りに之に抗辯して放還を求めたるも酒の爲め醉潰れし韓巡查補は何を生意氣なと云ひ樣趙姓女を撲り飛ばし負傷せしめたる騷ぎに附近を通行中の男女三名が見兼ねて之を止めたるに今度は此三人に喰つて掛り散々に毆打して三名にも夫々負傷せしめ不埓より逃走し一方警務部に上申直ちに免官となりたるが三日被害者及び證人等を呼出して取調中（光州）

●四名溺死

三日來の豪雨にて江原道金化郡瀬陽里にて鮮人四名溺死し居るを發見したる旨江原道警務部より警務總監部に通報ありたり

▲こんど內地に往つた朝鮮俳優の人々は恰度陰曆七月十五日の夜を家界にさしかゝつた▲水や空、空や水なる海上にいお月樣が昇る頃より見た明月は、納はこのかみさん達の頭が一つ甲板の金九河和尙がかつたが……」と一まてゝとまて〳〵納が一番有名な廣の慶雲大連和尙が甲板の上に坐つた▲海上の月はいよ〳〵益々冴え渡り金剛經の讀經の聲はいよ〳〵月に澄み渡る▲夜も更け人は皆寐靜まつたが和尙はまだ續みあげた▲月も隱れ人達も起きぬ▲宗聲でもないが玄界灘の眞中で讀經を遣つて來た人の容鐵は見て來たやうな……かと見ると、小姿の頭の膝を入れた、▲序でに和尙のはなしを廣い額をもつた富士山の形の、九州の高い背の青い色の著ないに白い紙をつけて肩までかけて一人の姿を見る入の文字が入り過ぎた

▲小奈良朗演

運用細各種合計五百六拾九段外九月十八日午前十一時賣却ス詳細ハ當廳會計係ニ就キ承合スヘシ　大正六年九月五日　京畿道

新學期開始　生徒募集　成績科、刺繡科、普通科、裁縫科、各科三ケ月卒業　希望に依り女教師に採用す　黃金町二丁目　シンガー裁縫刺繡院

本人の實子尹同燮（二十歲）は素行不良にして立志微弱なる爲洋服代金等の誘に欺さるゝ所となり手形若くは證書等を以て金錢を借用せんと致し又は內外國各商店各料理店等より後拂にて買受くる等の弊あるに付き內外國人は此に對し取引せられざる樣御注意を乞ふ

實印は尹子爵自ら多年保管し何時も他人に貸與せし事なし若し實印の押捺ある證書手形等ありとも一切無効なり　京城府　尹子爵家　謹告

正午堂　時計商　京城本町二丁目　電話長一〇〇〇番　振替京城一五〇番

職業　無休養近男女も出來る　上田總本店

藤田式製縄機　製造元大阪

鑛區買入　銅鐵鉛亞鉛鑛　鑛區買入致候　但許可採掘權及新發見共有志者は直接御申込相成度候　京城旭町一丁目電話九五五　三友鑛業事務所

試金用各種坩堝販賣　白上商店

洋服　秋冬服割引特約　京城黃金町　日新商行

最新刊　續世の中　無代進呈　大阪屋號書店

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候　和洋金物一式　佐藤半次郎商店　京城本町三丁目

醫化學諸器械一式　藥種賣藥卸商　北島藥店　京城本町　北島藥店城支店

英國倫敦イーラスミツキ會社製造　化粧品新荷到著　石鹼＝ピヤレス　エジプト　タキシバス　テスコ　コールドクリーム　外三十五種　藥用石鹼＝カルボレーキ　ホワイトロース　ツランスベーレント　香水＝イーラスミツキ　ランシヤン　ラン　カスタ　ヒメリヤブゲー　外十種　結晶香水＝クリストル　香油　白粉　各數種　英國イーラスミツキ會社代理店　朝鮮滿洲總卸元　大連市伊勢町四十八番地　田中洋行　特約店又は小賣店は各地到る處に在り

かぜねつ　最良藥　蛇印アンチピリン丸　速に御用意あれ　本舖　大阪　東京　丹平商會

櫻御殿

第八回 大阪 霞の家主人

小山の軍評定(五)

軍議已に決した上は、一日も早く出陣の用意をせねばならぬといふので、上杉景勝への押へとしては結城秀康を留め置き、おのれは急ぎ江戸へ引き返さうとした、福島池田を始め諸大名は皆な各自の陣所へ歸る、長政は一番後れて家康の前へ暇乞ひに出た

この時家康は食事をして居たが、それと見て中途で箸を置いて

「甲州、好い處へ〳〵、まづ近う」と猫撫聲で云つた、長政は側へ寄る

「評定も相濟み、一統の心も定まり、何とも祝着に心得申す、これ然しながら太閤御靈魂がお手引きに出る處ぞ、景勝威佩罷りある」とまづ成瀬の意を反かして後「そこでお周旋下されたる清洲侍從の事ぢやが、心配した程でも無く、案外早く心解けて此の上も無く滿足致すが、閣られぬは人心ぢや、眼前に彼は云ふても、質實は何うやら分らぬ、根が太閤恩顧の士『我等へ加擔の儀、心からでござらうか」

例の狐疑が頭をあげる、正則の向背に由つて、此の合戰の勝敗が定まるのであるから、正則が意外に早く味方した事を、裏心から歡ぶ裏面には、もしや當座を瞞かす策略ではあるまいかとの恐れもあつた、さうなると長政が竹を割つたやうな氣質、そんな疑念は毛頭無い

「大丈夫、左衛門尉も武士でござる尾張武士は信義を生命と致し申す」

「おやが、念には念を入れよと云ふ。萬一の間違があつてはならぬて、どうぢや、貴樣の口から、今一應本心を訊ねたもらぬか、侍從が上方へ味方するは、義理に於ても然あるべき儀、決して恨みには思ひ申さぬ、只先刻の話に表裏があると、それこそ我等の軍配に障り申すがの」

家康は正則の反覆がよく〳〵氣遣ひであつたと見ゐる

「御懸念は御無用になされませ、手前左衛門尉の心底は鋸にかけて存じ居る、決して二枚の舌などを使ふやうな者でない、且は御存じある如く治部奴とは犬と猿、假令どの樣な事あらうと、治部奴と二身になる氣遣ひござらぬ」

「貴樣は偽う云ふが村られぬは人心侍從の心も外面からは見られぬわさ」

「お疑ひなさされまするな、萬一別心の色あらば手前强て意見を加へて、御當家へ弓を引かする樣な事は致させぬ、その上、左衛門尉治部奴と一所になる氣色あらば、手前これに一刀を所持罷りある、刺し違へて死ぬるとも、御敵にはさせ申さぬ、御安堵の上、我の御手配肝要にござり申す」

長政は何事にも命を懸ける、彼は如何な仕事にも決死の心をもて當つた、家康は初めて心の腹から湧き起る笑みを見せて

「おゝ、此の合戰何うあらうと誰か如何やうの手柄せうぞ、貴樣が先登第一ぢや、わしの帳に付けて置く」

長政が暇を告げて歸らうとすると家康は暫時と止めて

「當座の褒美ぢや、これを差らせる今度の合戰に著て、隨分手柄を致し召されへ」と云つて手づから一領の兜を與へた、その兜は家康が長久手の合戰に著て、秀吉の大軍を駆け悩ました記念の品であつた

「辱うござる」

長政は受け戴いて陣屋へ歸つた、するとその翌日、長政が發足しようとする時、三歳駒の太く逞しいのに鞍を置いて贈り物にした、長政の言つた事がよく〳〵嬉しかつたと思はれる

正則は家康に憑標狐疑を掛けられながら、合戰の謀計に餘念なかつた明日宇都宮を出發しようとする前夜深く思ひ付いたことがあるらしく「淸之亟々々」と呼んだ、淸之亟は中館初瀬の戀人である、次の間からきり〳〵と締つた美しい姿を現はす

西洋料理 アイスクリーム おいしい事京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフェータイガー

日報俳壇

行々子

葦切や芦を渦旋く風 花翁
蘆の上を辷る白帆や行々子 同
芦を洗ふて流る水や行々子 同
湖に廣がる芦の風や行々子 同
葭切や漣糸乾く舟の屋根 同

ハンモック

草の波を泳ぐ思ひやハンモック 想仙
轉廻す端山の景やハンモック 同

毛虫

樹蔭れの門鎖しある毛虫哉 同

青田

裸牛躍る鵯や青田風 同

蝸牛

蝸牛や小雨に濡れて寶る家財 同

鵯の子

江沿ひ行く馬上の風を飛ぶ子鵯 同

桐の花

弱き陽の道ゐる小窓や桐の花 同
著述家の傾く窓や桐の花 同

眞桑瓜

手の平振りては食ふ眞桑哉 月小夜
眞桑の匂ひ嗅ぎ居る店の女卑し 同
眞桑割る俎にドヤと集る裸 同

納涼

ハモニカの上手見等や納涼臺 翠葉
松顆を撮にす門涼みかな 同
諸袖にて夕べ樂しき涼み哉 浅天

一日一句

夏風や桜の茎にかゝる雲 鳥兎
梅雨晴れ二階の手摺に洗髪吹く 黄丘
刈桑の背焚く夕の雨となり 瀬村

新刊紹介

▲安東商業會議所月報(三六) 安東縣商業會議所
▲戰後準備叢書第一編食料獨立(附)食料振興策(山崎農學士著) 東京麹町内幸町一ノ四中央報徳會
▲菲(一〇七) 一部十八錢大阪東區今橋五の一四四西圖菲社
▲べニヒ(七) 一部二十錢蠶業講義街士名内数堺二べニヒ社
▲英作文雜誌(二の九) 一部十二錢東京麹町富士見町六ノ一〇研究社
▲ゴム新報(九の九三) 一部十錢東京神田錦町五共社
▲電氣旬報( ) 一部五錢大阪北區若松町二六電界社
▲東洋皮革新報(三の一五二) 一部十錢大阪東區淡路町二ノ七七共社
▲花(六) 一部十錢東京下谷上野櫻木町三六 東雲閣
▲秋村詩鈔後集(市川秋山閲處大沼枕山評) 市川秋村翁の詩集にして秋村翁の男秋山氏の編纂に成るものなり(一冊七十錢東京芝區南佐久間町二ノ一八洋々書房)
▲ニコ〳〵(九) 寫眞版には久彌宮殿下の御姿を初め諸名家の避暑地に於けるニコ〳〵生活例に依り面白く記事には佐々博士の素人藝、加藤咄堂の社會百態觀其他讀むべきもの多し(東京京橋區南金六町ニコ〳〵倶樂部)
▲保健(衛生新報改題) 通俗の家庭的衛生雜誌にして趣味と實益に富む(一部十六錢五厘東京小石川宮下町二衛生新報社)
▲新公論(九) 社論『經濟社會の第二次革命』の外三の論說何れも讀むべく且つ目下社會の問題と爲り居る生活難に就き「如何にして中流社會の生活難を解決すべきか」の題下に諸名士の說を掲載す又誠し機宜に適へるものといふべし(一部二十八錢東京京橋區加賀町新公論社)
▲民聲(三の七) 漢學の記事多し(一部十三錢東京麻布一本松ノ八共社)
▲近代藝術(一の五) 一部二十三錢東京小石川原町三ノ二八共社
▲千代田(九の八) 俳句雜誌なり(一部十五錢東京神田橋本町三ノ五千代田吟社)
▲戰友(八七) 在郷軍人會の機關紙なり(一部七錢東京麹町飯田町二ノ五二帝國在郷軍人會本部)
▲農業雜誌(二一八八) 一部十錢東京麻布本村町二二農業社
▲婦人週報(三の三五) 一部四錢五厘東京市ヶ谷二ノ一七共社

讀者の領分

▲水標川の水害は私共の間にも久しい以前から問題に成つて居りました何しろ事情を訴へる方法もありませんので只だ御上の御處置を待つて居りましたが貴紙の御際で私共の願も通りまして(難有生)▲水標川の浚渫に就て興論が沸騰して來たのは難有い諸々も川浚への方法に就て其れ〳〵意見を出して見てはどうだ(川浚希望生)▲私も水害で困る一人ですが五日の夕刊の「火さもし頃」に出て居つたトロを川の中に敷いて積滯して居る土砂を東大門外の泥田に運び出して畑を作るとの意見は餘程好い思ひ付ですね何とか實行を賴みます(賛成生)▲京城の水害で思ひ付いたが市區改正の道路改修には莫大な費用を掛けて漢江あたりから土砂を運び入れる樣だがあれは請負者に條件を附して水標橋川筋の土砂を使用させてはどうか其方法は訓鍊院の廣場に一大砂置場を造へてトロで土砂を運んで貯めて置いて必要の時使用せしむる事だ或は愉快な方法と笑ふ人もあらうが決して馬鹿にしたものでもない(一市民)▲丸太を打込んで架くる假橋には閉口だ舟橋が好い手本ではないか此頃又昌德宮通りの新道に舟橋同樣の橋が架つて居る當局者は研究の上のことであらうが考へものですな浚渫が完全に出來るまでは現在の假橋で結構ではなからうか(觀水洞生)▲先達て僕は京城府の土木課の役人が自轉車で四五人ばかり走つて居つたのを見たがあれでは充分の調査は出來まい徒歩で行られては如何(目撃生)

商況

大阪日米特電

▲六日後場 [illegible]

大阪正米 [illegible]

▲仁川現物 [illegible]

▲又復稍軟 [illegible]

名刺 京城 太平堂 電話二七一二番 振京二三六七番

京日案内

▲市内及市外の配達は特に週別ゆるさ ▲六圓以上の御申込は特に週別 ▲御照會は返信料添付にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず番號御記入を

普通 五十錢(前金) 番外壹圓(前金)(假名一圓毎に拾錢增し)

六疊床及押入附一間貸間あり 本町三丁目鐵匠上隣 山下商店 533
◎金融 月收の方に極秘信用貸便宜立替御報伺上又御來談 花園町八七 大和屋質店 532
◎電話貸物あり希望の御方は左記へ御照會ありたし(電話二〇三番) 南山町三丁目巴旅館上 吾郷 529
◎店員入用年齡十五六歳より二十迄市内保證人を要す 龍山鐵道構内 田口商店 627
◎古本高價買受申候 本町一丁目(明治町通) 御報次第參上 野村書店 525
◎手代入用 店員入用 身體壯健なる者 京城黄金町二の百二〇 大橋大三郎 928
◎記者及事務員採用 十圓以上五十圓 本人來談 履歷書要(電話二七七七) 吉野町一の一二七 第三帝國支社 530
◎事務員採用 筆蹟履歷書並に寫眞添附あれ ●能筆にして經驗ある者 希望の者は自筆履歷書携帶來談あれ 南大門通二 直輸入紹紗商睦商會 517
內女事務員入用 黃金町二の六五 京城黄金印刷橋原口迄 535
京城間自働車 賃片道四圓 春川自働車 京城發前八時 京城水標橋通り 電話二二三八番 春川發前八時 松田善男 534
恩給年金立替 五年半迄 京城若草町一吉(金光教會東手) 國江商會 電話三三九一番 526
鑛物定量分析 明治町二丁目 電話二七七六番 田部分析所 477
年金恩給 四年半迄 無保險 利子低利 即時立替 確實融通 商品陳列館 前下ル角 江州屋本店 京城永樂町 481
◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 342
鑛搗礦器 佃島製作 臼五十封度十本組一臺 同 五本組二臺 賣品 京城南大門外 中根商會 505
健胃消化錠 ゴルフ 二十錠 四十錠 タカヂアスターゼを主藥とせる胃腸の新製劑なり 東京室町 泰昌製藥株式會社

花柳病專門 外科 ◎梅毒◎痳病◎泌尿生殖器病◎痔九病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 電話三〇六五番 司生堂醫院

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速に而も好評を得る 京城日報社寫眞製版部

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年九月號 (定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘)

主要目次

口繪 鬱陵島の道洞港口、全北金山寺の七重塔、蘇島模範場の苹果栽培狀況、京畿道の優良苗木

鮮滿鐵道の統一 …… 人見鐵道局長
李朝の土地制度と高麗との連鎖 …… 淺見高等法院判事
近年の豪雨 …… 平田觀測所長
發電水力調査(承前) …… 遞信局
李朝五百有餘年間に於ける模範的石橋 …… 渡邊彰
製筈事業に關する調査 …… 營林廠

(行政)濟生院事業報告◎咸南の行政區域名稱(財政及金融)大正六年上半期の朝鮮貿易◎大阪對朝鮮貿易◎六月中經濟概況◎七月中の貿易(産業)雜穀實收高◎特用作物實收高◎菜豆に關する調査◎夏蠶豫想外數件(交通及土木)朝鮮國有鐵道の引繼◎電報通信狀態◎遞信事業概況(學事)内地留學生狀況◎間島の朝鮮人教育(司法及警察)不動産登記令の施行及地方法院出張所の設置◎朝鮮在住内地人の戸籍届出方法◎地方通信◎雜報◎敍任辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例

▲投稿を歡迎す 原稿締切期限毎月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

第六十六回勸業債券(拾圓券)賣出

■總額 五百萬圓 利子年四分(毎年一月拂)
■賣出 九月十五日より三十日まで 當銀行・各地代理店・取扱店並に各地郵便局にて賣出す
■くじびき 初回は本年十二月(割增金總當り) 以後五箇年間は年二回其後は年一回
■割增金

等級	金額	初回	二回目以後毎回
一等	貳千圓	十本	五本
二等	百圓	二百三十五本	二十五本
三等	拾圓	三百五十本	二百五十本
四等	五圓	九百本	四百七十本
計		一千五百本 六萬壹千五百圓	七百五十本 壹萬七千參百五十圓

大正六年九月
東京市麹町區内山下町(振替貯金口座東京第四番)
日本勸業銀行

磯部法學博士閲 一森辯護士著 五年間苦心の大著
法理詳說 判例參照 實例引用
債權者の法律顧問
類書中の白眉!
本書一冊あらば被告の辯護士代言人を雇ひ得るに勝る、約千頁七十餘萬字は一字一句皆活きて働く實用本位の活文字。
◆ 本書の内容に就て ◆
特價壹圓八拾錢 送料十二錢
◆ 殘部僅少 直に申込まれよ 約千頁 定價金二圓三十錢

大阪商船出帆
◎神戸大阪行 信濃丸 九月十二日 後二時出帆
△×油頭丸 九月十七日 後二時出帆
◎南浦、神戸、大阪行 ×油頭丸 九月 日 後二時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 安東丸 九月五日 後二時出帆 安東丸 九月廿三日 後二時出帆
○横濱行 福州丸 油頭丸 月 日 後二時出帆
△×南浦行 油頭丸 九月十四日 後二時出帆
◎鎮南浦、大連行 安東丸 安東丸 九月十八日 十月六日 後二時出帆
◎西湖津新浦城津淸津行(元山出帆) 宮島丸 九月二十日 後十二時出
◎淸津行(元山出帆) 安平丸 九月十四日 後十二時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 九月十三日前五時出帆 九月廿七日後四時出帆

朝鮮郵船出帆
京城代理店 仁川代理店 ...
◎釜山より各地經由雄基行 京畿丸 忠清丸 成鏡丸 平壤丸 九月廿三日 九月十九日 九月十八日 九月十四日 釜山發
◎元山より各地經由雄基行 忠清丸 咸鏡丸 三浦丸 九月十二日 九月十五日 九月十一日 元山發
◎浦潮行(元山より雄基清津經由) 平安丸 九月十一日 元山發
◎元山長箭線 京城丸 清城丸 忠清丸 九月十四日 九月二十日 九月廿三日 元山發
◎釜山元山線 慶寶丸 九月十日 九月十四日 釜山發 元山發
◎鬱陵島行浦項及各地經由 發德丸 九月七日 釜山發
◎江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發
◎濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 九月十一日 釜山發
◎麗水行(各地經由) 海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
◎木浦麗水間 統營丸 順天丸 南鮮丸 三日目毎に木浦發
◎木浦より濟州島行各島經由 西海丸 公州丸 東海丸 慶興丸 九月十日 九月七日 木浦發
◎多島海各島行 慶興丸 九月十二日 木浦發

共同汽船仁川出帆
大連、芝罘行 第廿共同丸 九月五日午後入港 九月七日午前十時出帆
本町四丁目 野口商會 仁川代理店

◎御注意 切符發賣所 ...

▲八名氏は五日朝入港の迎新船高麗丸にて來釜同十時三十分發列車にて帰任せり